

ローランド ディー.ジー.株式会社

2021年12月期（2021年度）
決算説明会

2022年2月18日

| 本日の発表要旨

FY2021実績

前年(FY2020)・コロナ前(FY2019)と比較し**大幅増収・増益**

FY2022予想

2021年比で**増収増益**を予想
(売上高+9.5%、営業利益+20.5%、当期純利益+42.0%)

中計見直し (2021-2023)

数値**目標引き上げ**、成長戦略をアップデート

1.

2021年12月期 業績概要

2. 2022年12月期 連結業績予想

3. 中期経営計画の見直し

4. Appendix

FY2021は前年(FY2020)・コロナ前(FY2019)と比較し大幅増収・増益

FY2021概況

FY2021 通期

■ 設備投資需要は堅調に推移

- コロナ禍の注意喚起表示需要が後半にかけて減少へ、屋内外広告の出力需要が回復
- 成長分野のデンタル市場は引き続き需要拡大

■ 供給面は不安定ながら、販売影響を最小限にとどめるよう対応

- 部品不足、海上輸送の長納期化で不確実な状況が継続
- 仮設工場設置などにより需要拡大に対応
- 原価低減により部品価格の高騰の影響を抑制

FY2021 Q4

■ 需要の継続により業績予想を上方修正 (2021年12月23日公表)

- 需要は想定どおり好調に推移
- 供給遅延により輸送在庫・受注残が増加し、修正予想に対してはわずかに下振れ

需要拡大への対応

■ タイ工場敷地内に、生産エリアを備える仮設工場を設置

- デンタル加工機の需要拡大への対応を目的
- 敷地内に製品の組立てエリアを有する仮設工場を設置、10月下旬より稼働開始



仮設工場設置の様子



2022年3月末まで利用予定



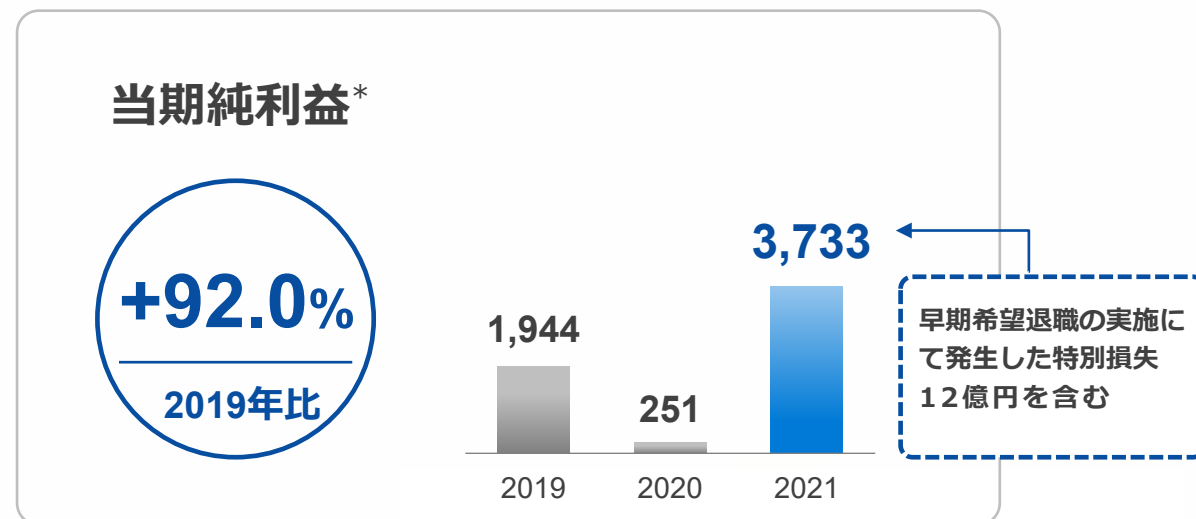
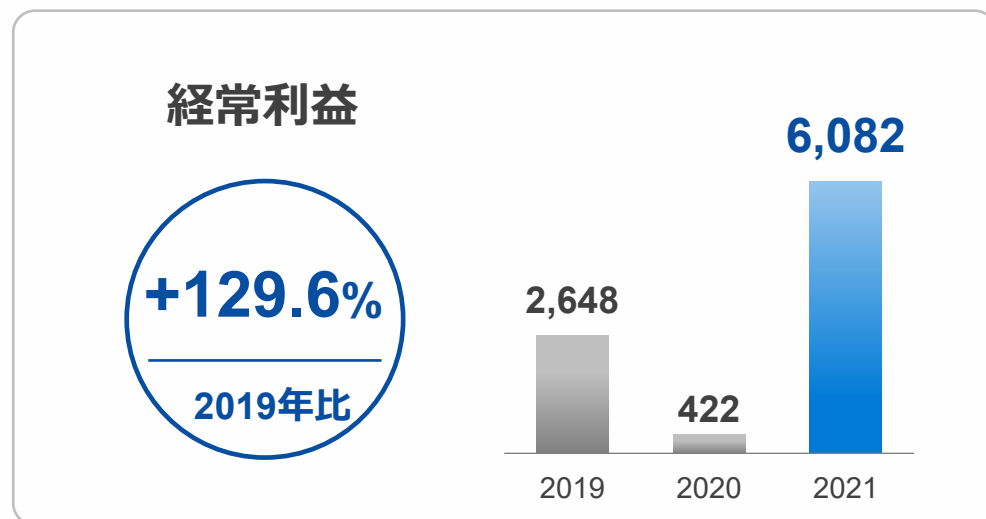
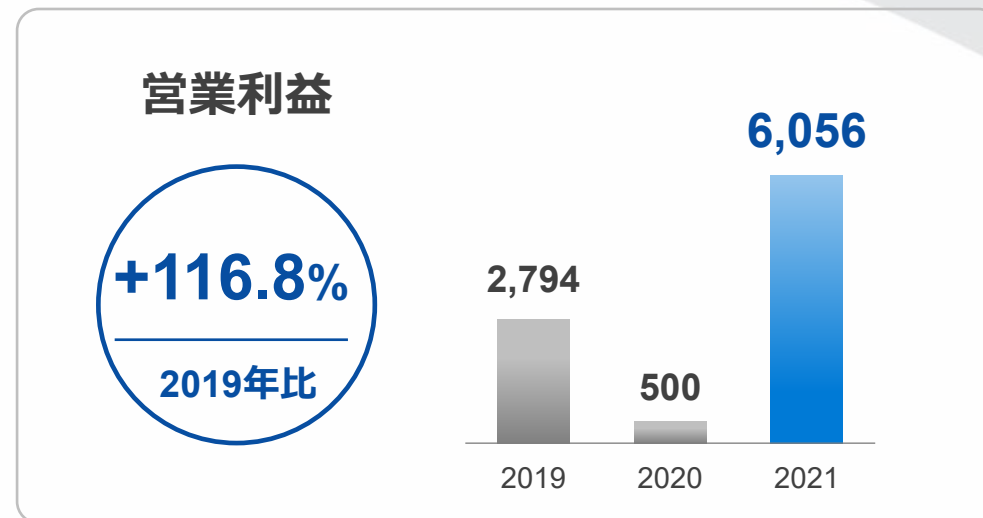
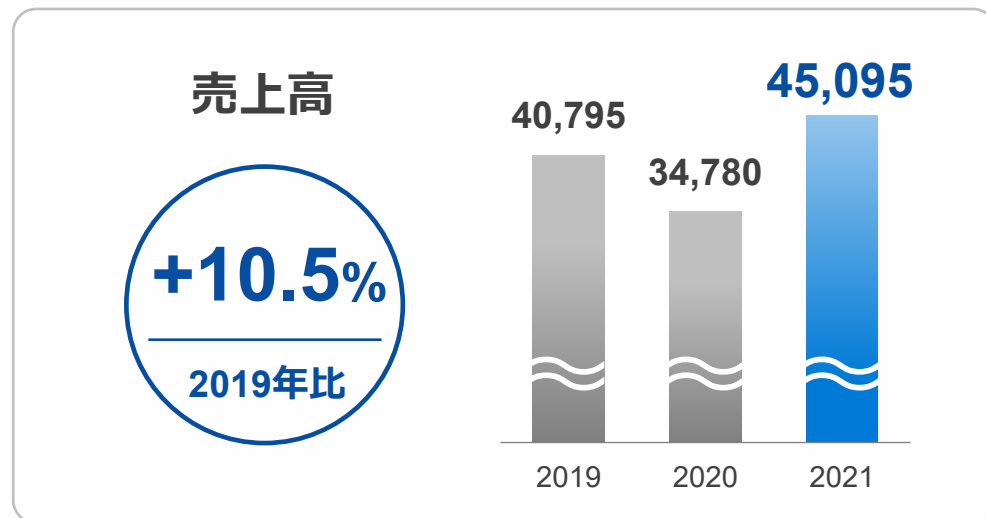
組立てエリア680㎡、部品置場200㎡を確保



仮設工場稼働後の様子

コロナ前を上回り、新たな成長ステージへ転換

通期連結業績 前期比



(単位：百万円)

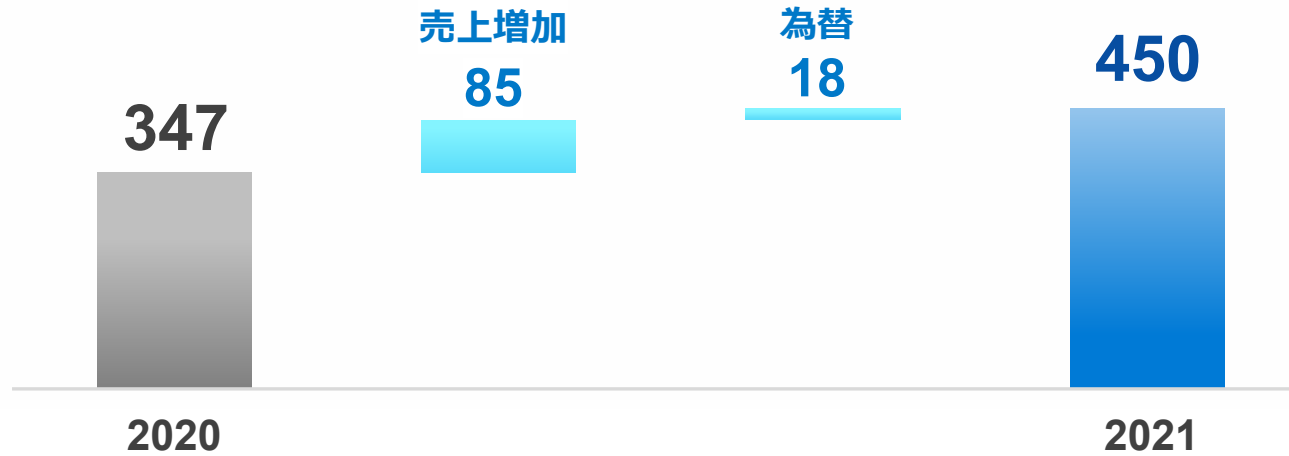
*当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益

売上高・営業利益 増減要因

通期連結業績 前期比

(単位：億円)

売上高



期中平均レート (単位：円)	USD	EUR	2020	2021	前期比
			106.83	109.81	102.8%
			121.86	129.93	106.6%

営業利益



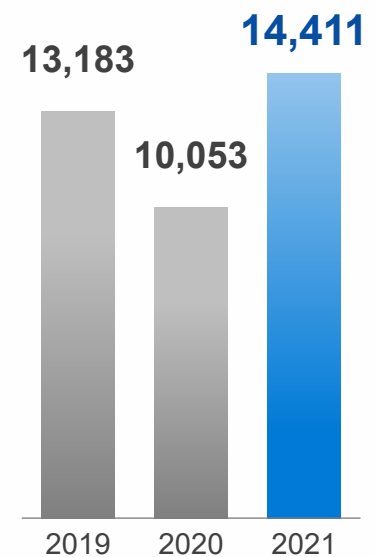
*1 早期希望退職制度 (Early Retirement Program)

*2 ERP効果に含まれる人件費を除く

需要回復のプリンターと成長続くデンタル加工機

品目別売上高 前期比

(単位：百万円)



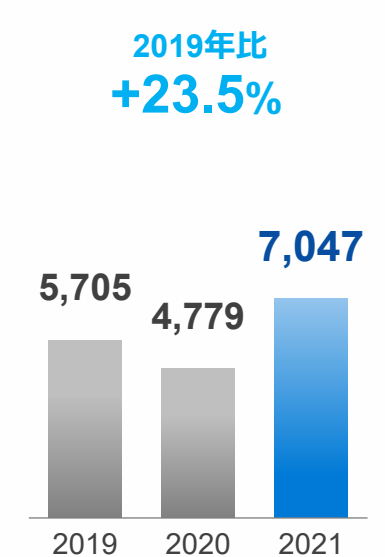
プリンター

- 感染予防を促す注意喚起表示などの出力需要が持続
- サイン市場向けプリンターとリテイル市場向けUVプリンターが増加
- インハウス、スモールビジネス向けに卓上型の小型プリンターの販売が好調



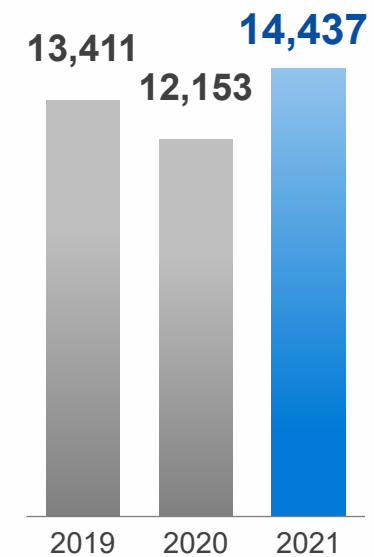
プロッタ

- サイン市場向け大型新モデルを投入し、増加
- インハウス向けに卓上型カッティングマシンが増加



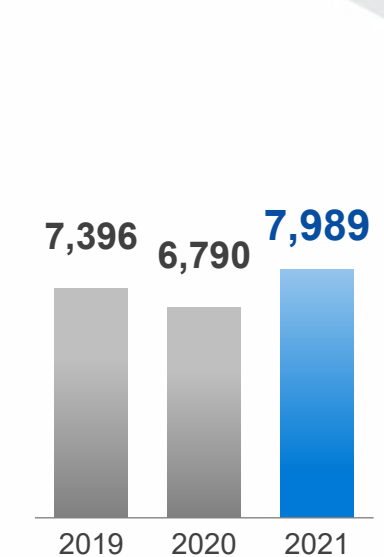
工作機器

- 欧米を中心にデンタル市場の需要は引き続き好調に推移
- 歯科技工のデジタル化が拡大する中南米、中東、インド、アフリカなどの新興国地域で販売拡大
- 新興国向けモデルを投入



サプライ

- 感染予防の注意喚起表示の出力需要が堅調に推移
- 広告やイベントに関連する出力需要の回復からインクの消費が拡大



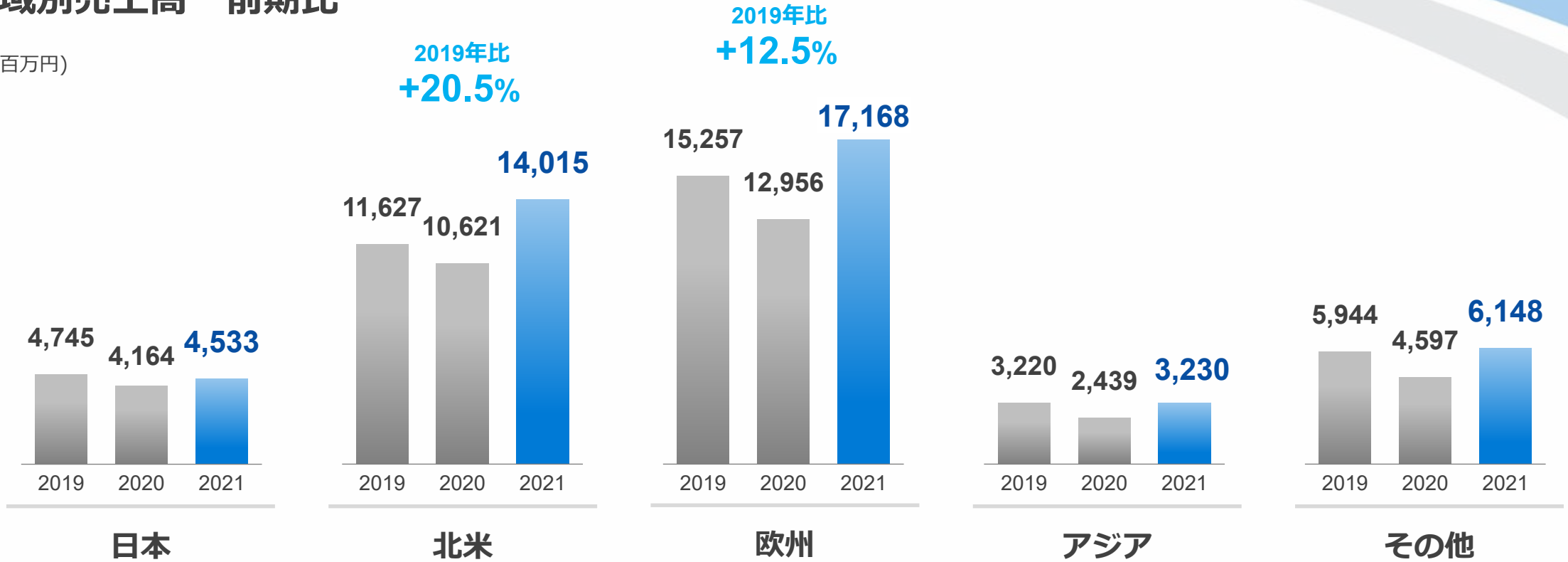
その他

- 製品稼働率が改善し、サービスパーツの販売が増加

経済活動の正常化に向け欧米を中心に販売拡大

地域別売上高 前期比

(単位：百万円)



- 断続的に経済活動の制限が続くも、設備投資は回復傾向、プリンターとデンタル加工機が増加
- 出力需要の回復は低調で、サプライのインク販売は前期並みに留まる

- サイン市場向けプリンターとサプライのインクが増加
- インハウスやスモールビジネス用途で卓上型プリンターが増加
- 歯科技工の内製化需要が高まり、デンタル加工機の導入が拡大

- 主力のサイン市場向けプリンターとリテイル市場向けUVプリンターが増加
- サプライのインクが増加
- デンタル加工機が堅調持続
- 為替の円安効果

- 中国・韓国ではデンタル加工機とサービスパーツが増加
- ASEAN地域はプリンター低調もデンタル加工機が増加
- インドではデンタル加工機が好調

- オーストラリアではプリンターとインクの増加と豪ドルの円安効果で増収
- 中南米でプリンターとデンタル加工機が増加
- 中東・アフリカ地域で販売増加

部品調達難への対応と海上輸送の長納期化による在庫増加

たな卸資産額と生産金額の推移

(単位：百万円)

たな卸資産額

■ たな卸資産額 ○ 生産金額

船上在庫
8億円増加

生産金額

12,000

7,000

10,000

6,000

8,000

5,000

6,000

4,000

4,000

3,000

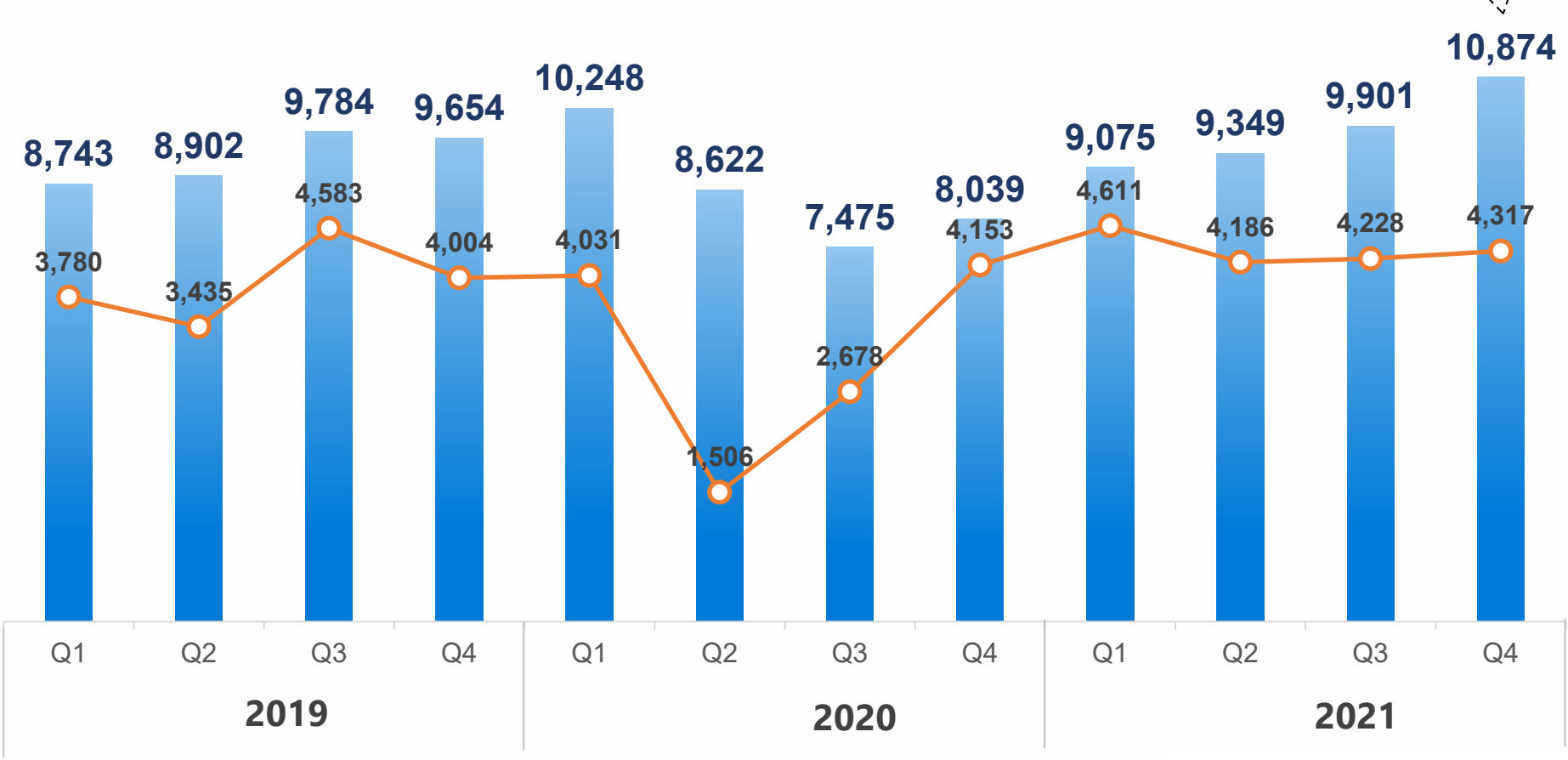
2,000

2,000

0

1,000

0



健全なバランスシート

要約連結貸借対照表（2021年12月31日現在）



※増減は前期末比

1. 2021年12月期 業績概要

2. 2022年12月期 連結業績予想

3. 中期経営計画の見直し

4. Appendix

方針と業績予想の前提

2022年12月期

2022年方針

- **パーソナライズ・カスタマイズ分野（DF*¹）**の開拓と販売拡大
- デジタル化が加速するデンタル市場の**新興国地域の販売強化**と院内ラボを有する歯科クリニックへの積極展開
- サイン(VC*²)市場の顧客基盤の維持と収益の確保

※1 Digital Fabrication

※2 Visual Communication

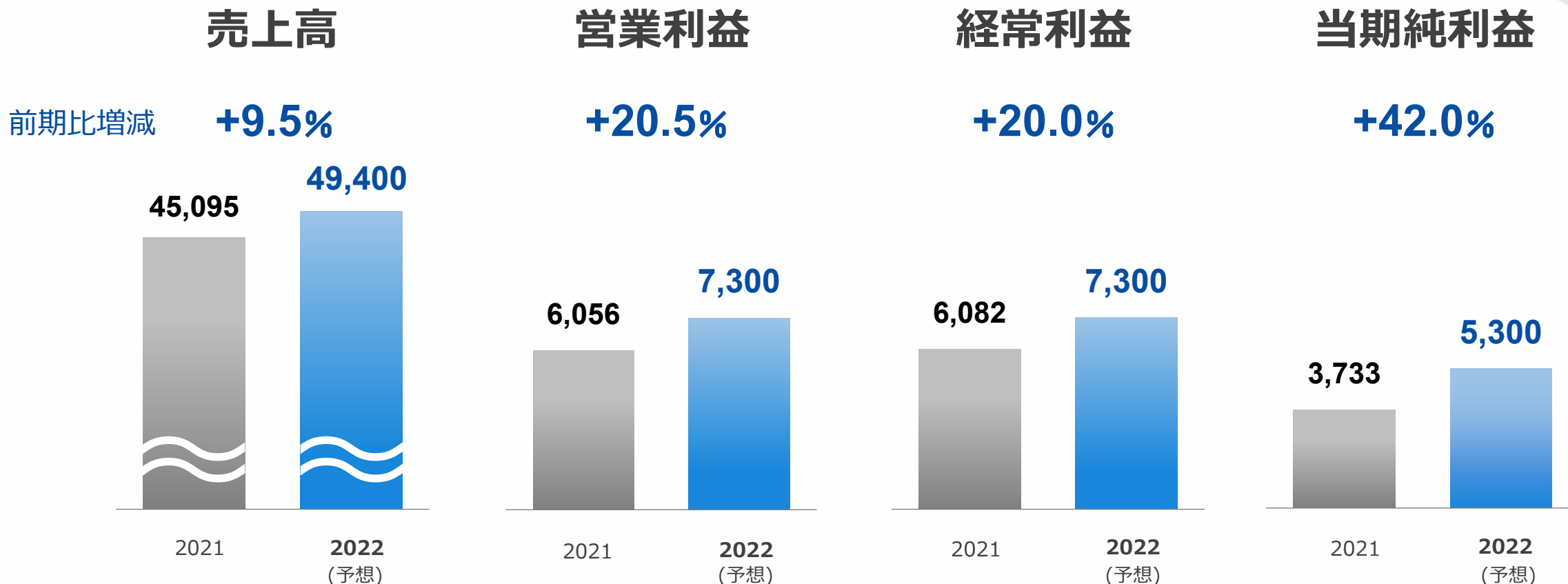
業績予想の前提

- コロナ禍での感染対策と経済活動の両立に向けた回復基調が持続し、当社の事業分野でも需要の増加を見込む
- 部品調達が困難な状況による影響を上半期まで織り込み、下半期にかけて影響が低減するものと想定

増収増益予想、売上高・当期純利益は過去最高

2022年12月期 通期連結業績予想

(単位：百万円)



期中平均レート(円)	2021	2022想定	
USD	109.81	113.00	102.9%
EUR	129.93	128.00	98.5%

2022年12月期より研究開発費を販管費へ組替え

通期連結業績

タイ工場への生産移管完了に伴い、研究開発費を原価から販管費計上へ変更

(単位：百万円)	2021		2022予想 組替え前		2022予想 組替え後		組替え後-組替え前	
	実績	売上比	予想	売上比	予想	売上比	増減額	比率
売上高	45,095	100.0%	49,400	100.0%	49,400	100.0%		
売上原価	25,127	55.7%	27,100	54.9%	23,900	48.4%	△3,200	6.5%
売上総利益	19,968	44.3%	22,300	45.1%	25,500	51.6%		
販管費	13,912	30.9%	15,000	30.4%	18,200	36.8%	3,200	6.5%
営業利益	6,056	13.4%	7,300	14.8%	7,300	14.8%		

従来基準（研究開発費を売上原価へ計上）での原価率および販管費率比較

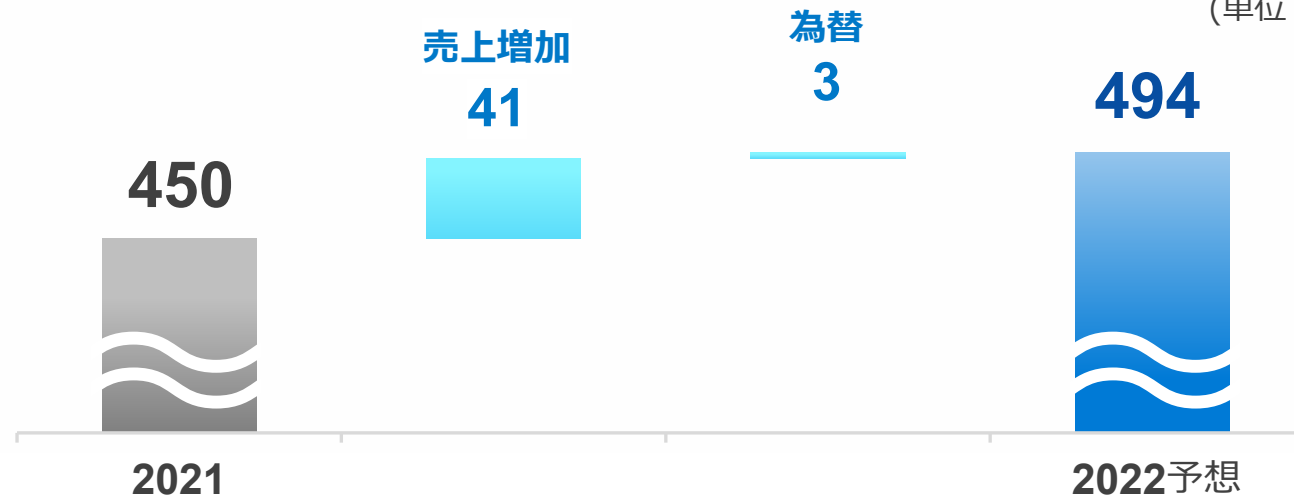
- 原価率は54.9%と前期比0.8ポイント改善
- 販管費率は30.4%と前期比0.5ポイント改善

売上高・営業利益 増減要因

2022年12月期 前期比較

(単位：億円)

売上高



期中平均レート (単位：円)	USD	109.81	113.00	102.9%
	EUR	129.93	128.00	98.5%

営業利益

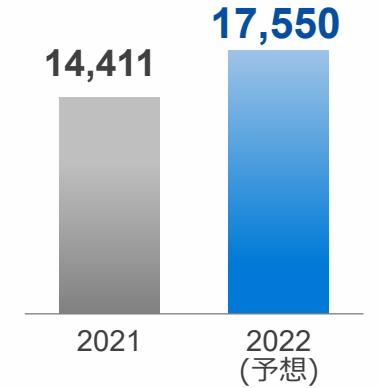


*1 早期希望退職制度 (Early Retirement Program)

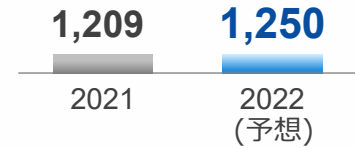
品目別・地域別売上高

2022年12月期

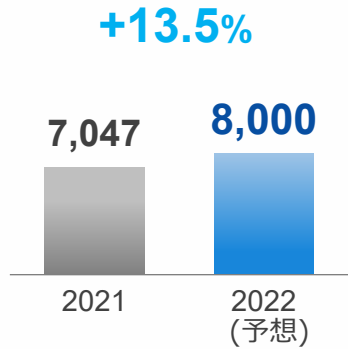
+21.8%



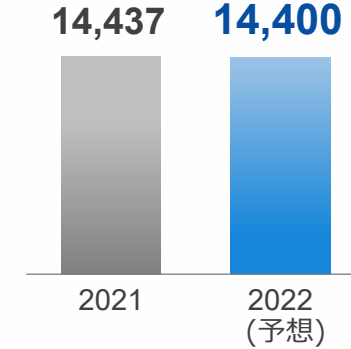
プリンター



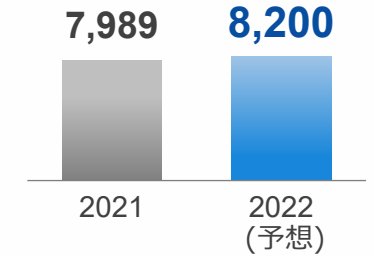
プロッタ



工作機器



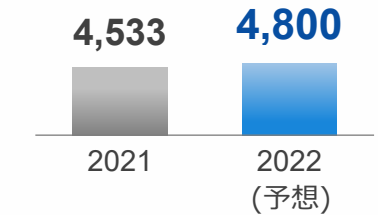
サプライ



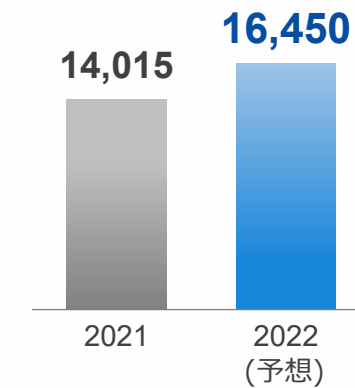
その他

(単位：百万円)

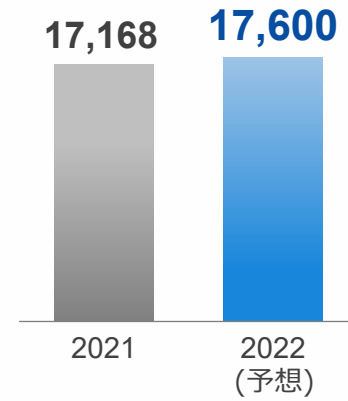
+17.4%



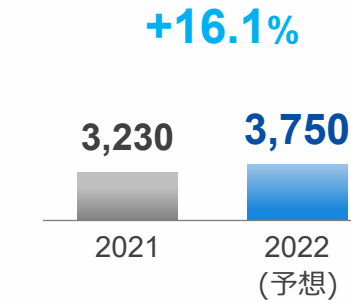
日本



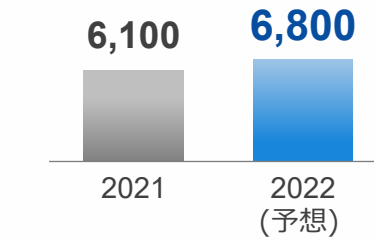
北米



欧州



アジア

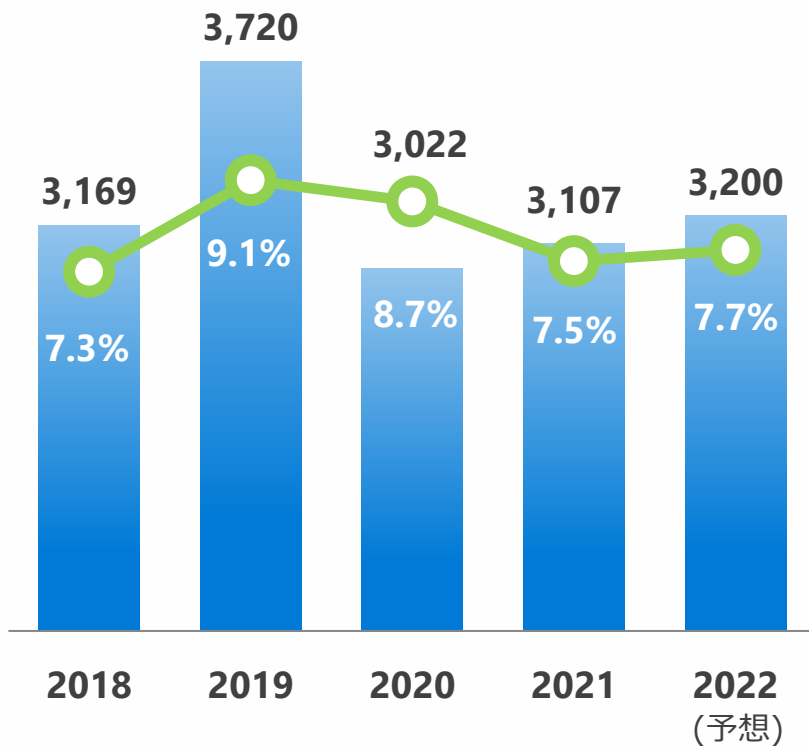


その他

研究開発費、設備投資額・減価償却費の推移

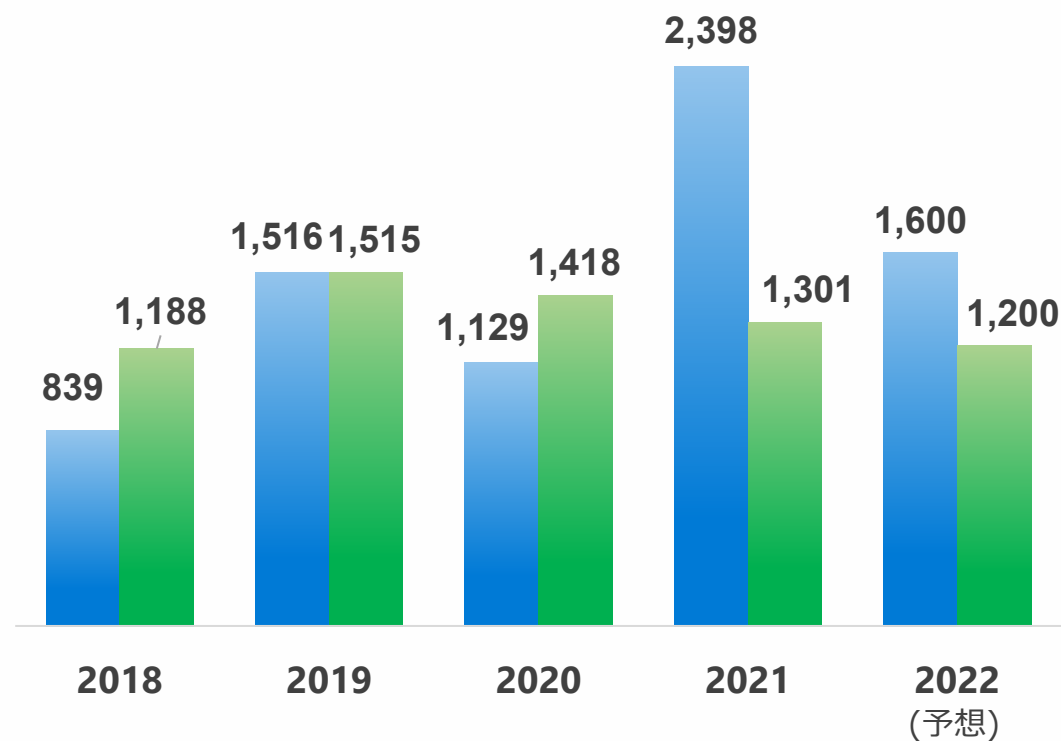
(単位：百万円)

■ 研究開発費 ● 研究開発費比率



(単位：百万円)

■ 設備投資 ■ 減価償却費

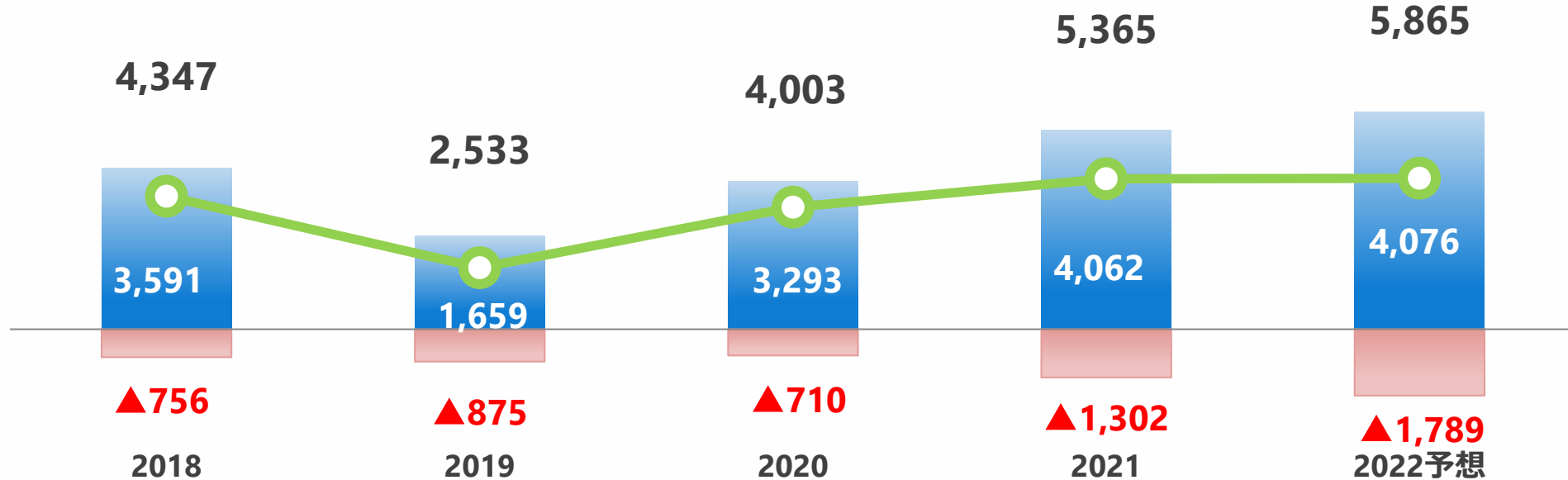


※ 2019以降はIFRS第16号「リース」の適用

フリー・キャッシュフローの推移

(単位：百万円)

■ 投資活動によるキャッシュ・フロー ■ 営業活動によるキャッシュ・フロー ● フリー・キャッシュ・フロー

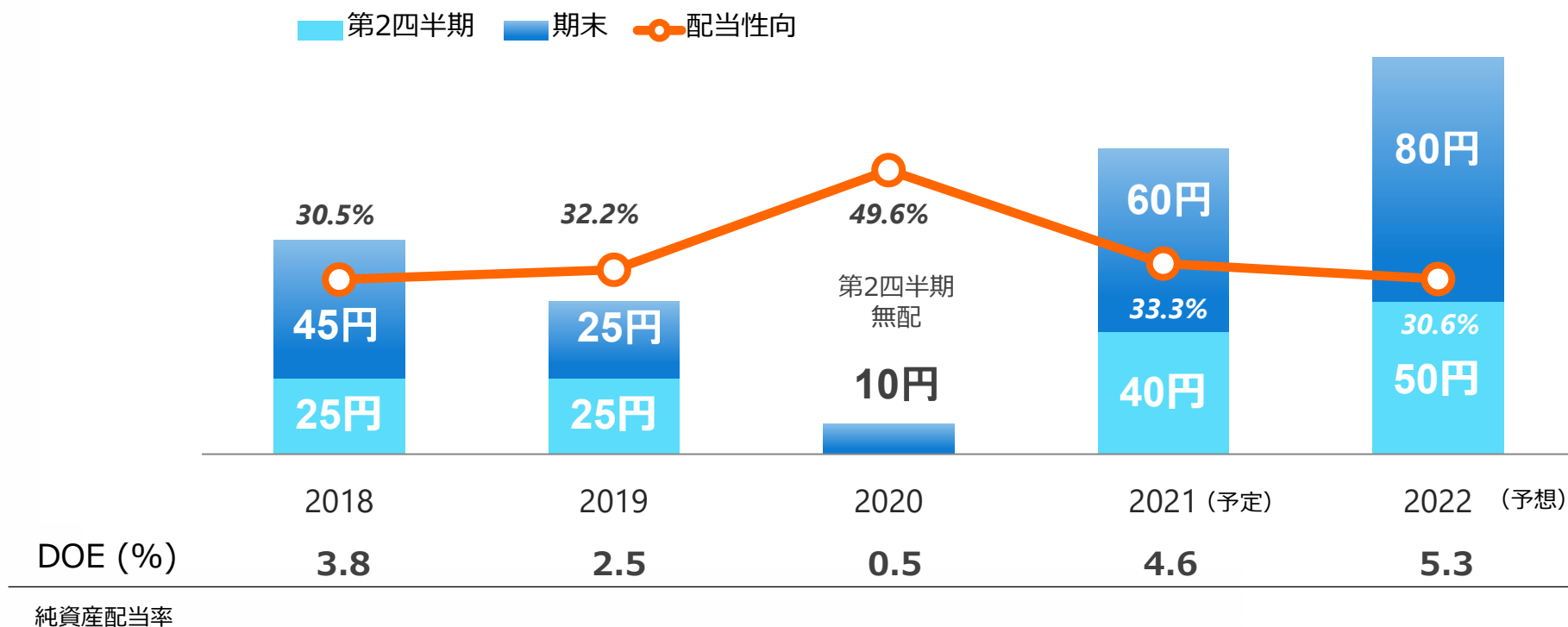


株主還元

配当の基本方針：連結利益に対する配当性向30%もしくは株主資本配当率（DOE）2%以上のいずれか高い金額を基準に今後の事業展開を勘案の上、決定する。

2021年度予定：期末60円を予定。年間配当100円、年間の配当性向33.3%。（3/24株主総会の承認をもって決定）

2022年度予想：第2四半期50円、期末80円の年間130円を予想。年間の配当性向30.6%。



役員人事（予定）

異動予定日 2022年3月24日（木）

2022年3月24日開催の定時株主総会での承認を経て正式決定

新任取締役候補

氏名	新役職名	現役職名
アンドリュー・オランスキー	取締役	Roland DGA Corporation 取締役社長 兼 CEO (当社米国販売子会社)

退任予定取締役

氏名	現役職名
エリー・キースメーカー	取締役
廣瀬 卓生	社外取締役

再任予定監査役

氏名	現役職名
鈴木 正康	監査役

取締役・監査役および執行役員の専門性と経験

3月24日定時株主総会後の予定 ※執行役員は2022年2月時点の体制

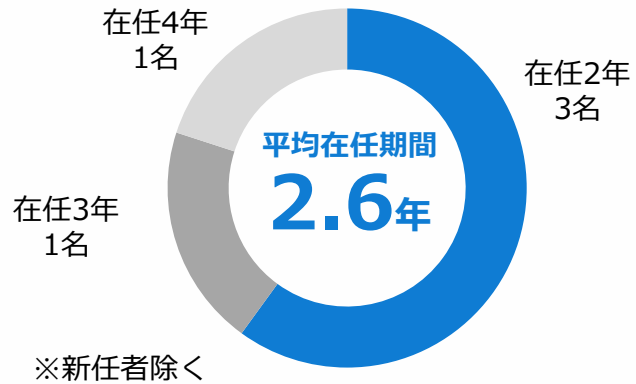
氏名	基本スキル					戦略スキル					
	企業経営	製造・技術 研究開発	販売・ マーケティング	財務・会計	コンプライアンス・ リスクマネジメント	オープンイノベーション・ 新事業創出	M&A・ アライアンス	IT/DX推進	コーポレート・ コミュニケーション	サステナビリティ 経営*	グローバル 経験
取締役	田部 耕平	●		●		●					●
取締役	上井 敏治	●	●		●	●			●		●
取締役	アンドリュー・オランスキー	●		●		●					●
(独立)社外取締役	細窪 政	●			●	●	●				●
(独立)社外取締役	岡田 直子	●		●		●		●	●	●	●
社外取締役	ブライアン・K・ヘイウッド	●		●	●	●	●		●		●
監査役	鈴木 正康				●						●
監査役	長野 直樹				●	●					●
(独立)社外監査役	松田 茂樹	●			●						
(独立)社外監査役	本田 光宏				●	●				●	●
執行役員	倉田 裕司		●					●			●
執行役員	尾藤 寿	●	●			●		●			●
執行役員	香下 隆明		●	●							
執行役員	小川 和宏	●	●	●	●	●	●		●		●
執行役員	トニー・ミラー			●		●	●				●

※サステナビリティ経営にはダイバーシティ&インクルージョン(D&I)、人材育成、SDGsのスキルを含む

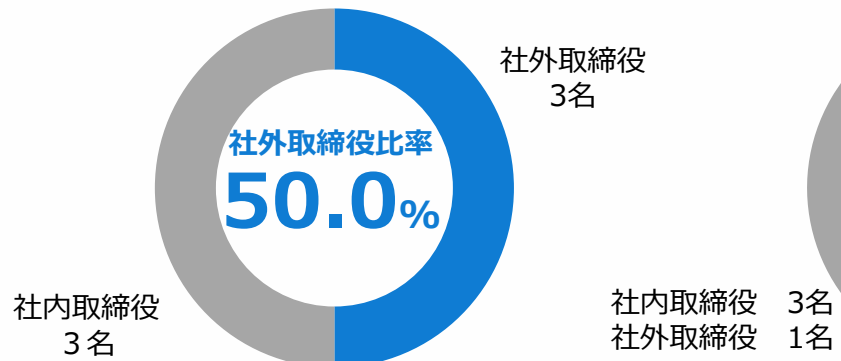
コーポレートガバナンス ハイライト

※3月24日の株主総会承認可決された場合の数値

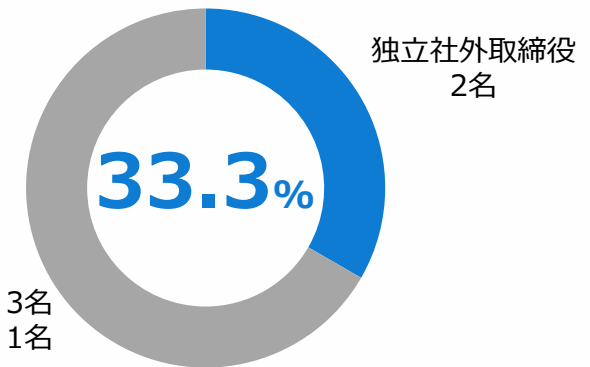
在任期間



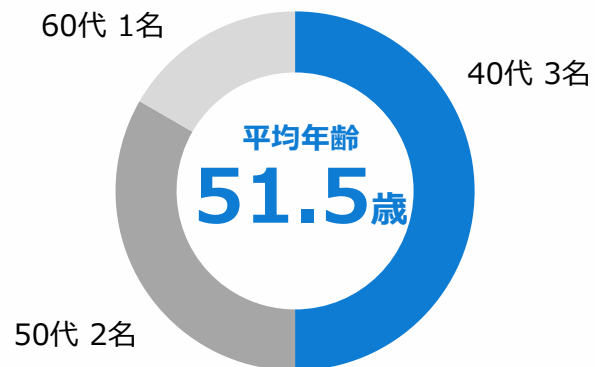
取締役構成



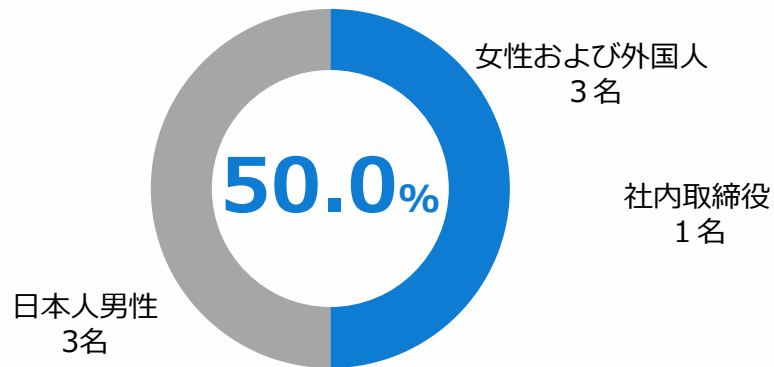
独立性比率



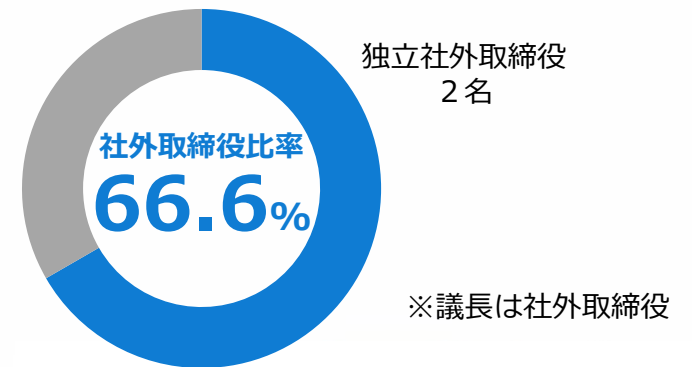
年齢



ダイバーシティ



指名・報酬委員会構成



1. 2021年12月期 業績概要
2. 2022年12月期 連結業績予想
3. **中期経営計画の見直し**
4. Appendix

現2021-23中期経営計画 概要（再掲）

基本戦略

事業ポートフォリオの転換

- ・ 既存事業の徹底した効率化
- ・ 新興国・新領域への展開

2021-23 中計
基本戦略

筋肉質な企業体質への変革

- ・ 製造拠点集約
- ・ 固定費削減
- ・ 経営体制・組織刷新

計数目標

計数目標

	FY2019	FY2020	FY2023
売上高	408億	348億	480億 + α
新事業売上高 (構成率)	-	25億 / 7%	100億 / 20%
営業利益 (率)	28億 / 6.8%	5億 / 1.7%	60億 / 12.5%
ROE	7.9%	1.0%	15%
ROIC	6.5%	0.6%	15%
CCC	163	141	120
配当性向 / DOE ¹	32% / 2.5%	50% / 0.5%	30% / 2%

1. Dividend on Equity: 純資産に対する配当割合

25

Roland

基本戦略進捗：構造改革は順調に実行

これまでの主な実施事項

- 国内早期希望退職制度の導入・完了
- タイへの量産機能移管を実施
- 経営体制を刷新
- 経営の見える化や意思決定の迅速化



**13億円（年換算）相当の
固定費削減を初年度にて実現**

目指していた、
「筋肉質な企業体質」に向けて
大きく前進

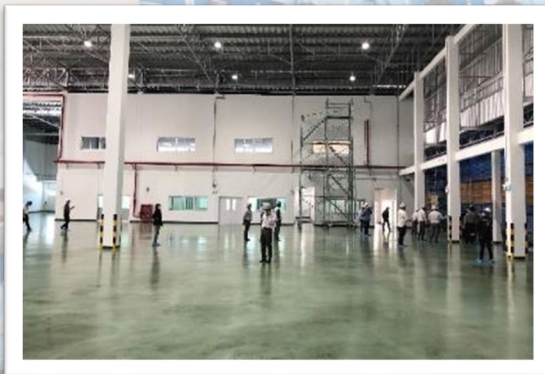
タイ工場への量産機能の集約

倉庫機能増強の為の増床工事

■ 2022年1月工事完了



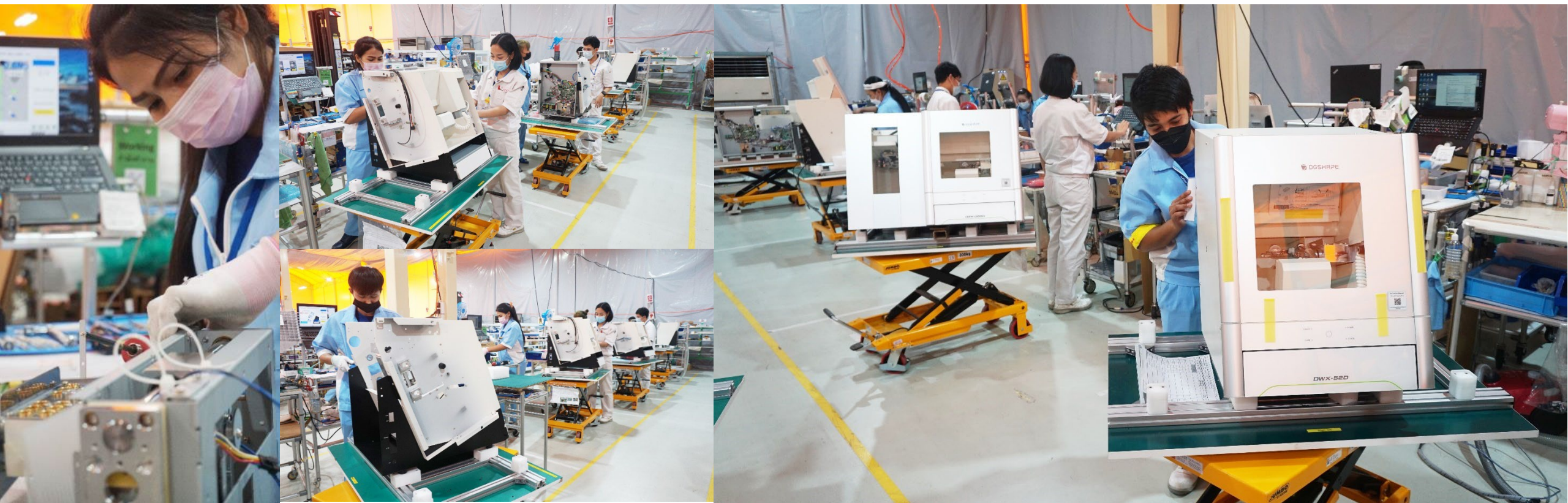
■ 2月11日に記念式典がおこなわれました



デンタル加工機の生産移管

■ 当初計画どおり2021年度で完了

- ・ タイ工場ではこれまでプリンターの量産機種を中心に生産。タイへの生産集約により新たにデンタル加工機の生産を開始
- ・ 作業者を支援する当社独自の生産方式により、製品の品質を保持します



計数目標を引き上げ、さらなる企業価値の向上を目指す

	Actuals				中計目標	
	FY2019	FY2020	FY2021	FY2022	当初目標 FY2023	New FY2023
売上高	408億	348億	450億	494億	480億	540億
営業利益 (率)	28億 / 6.8%	5億 / 1.7%	60億 / 13.4%	73億 / 14.8%	60億 / 12.5%	80億 / 14.8%
ROE	7.9%	1.0%	13.9%	17%	15%	17%
ROIC	6.5%	0.6%	13.0%	-	15%	15%
CCC	163	141	147	-	120	120
配当性向 / DOE※	32% / 2.5%	50% / 0.5%	33% / 4.6%	30% / -	30% / 2%	30% / 2%
FX Rate (USDJPY/EURJPY)	109/122	107/122	110/130	113/128	100/125	113/128

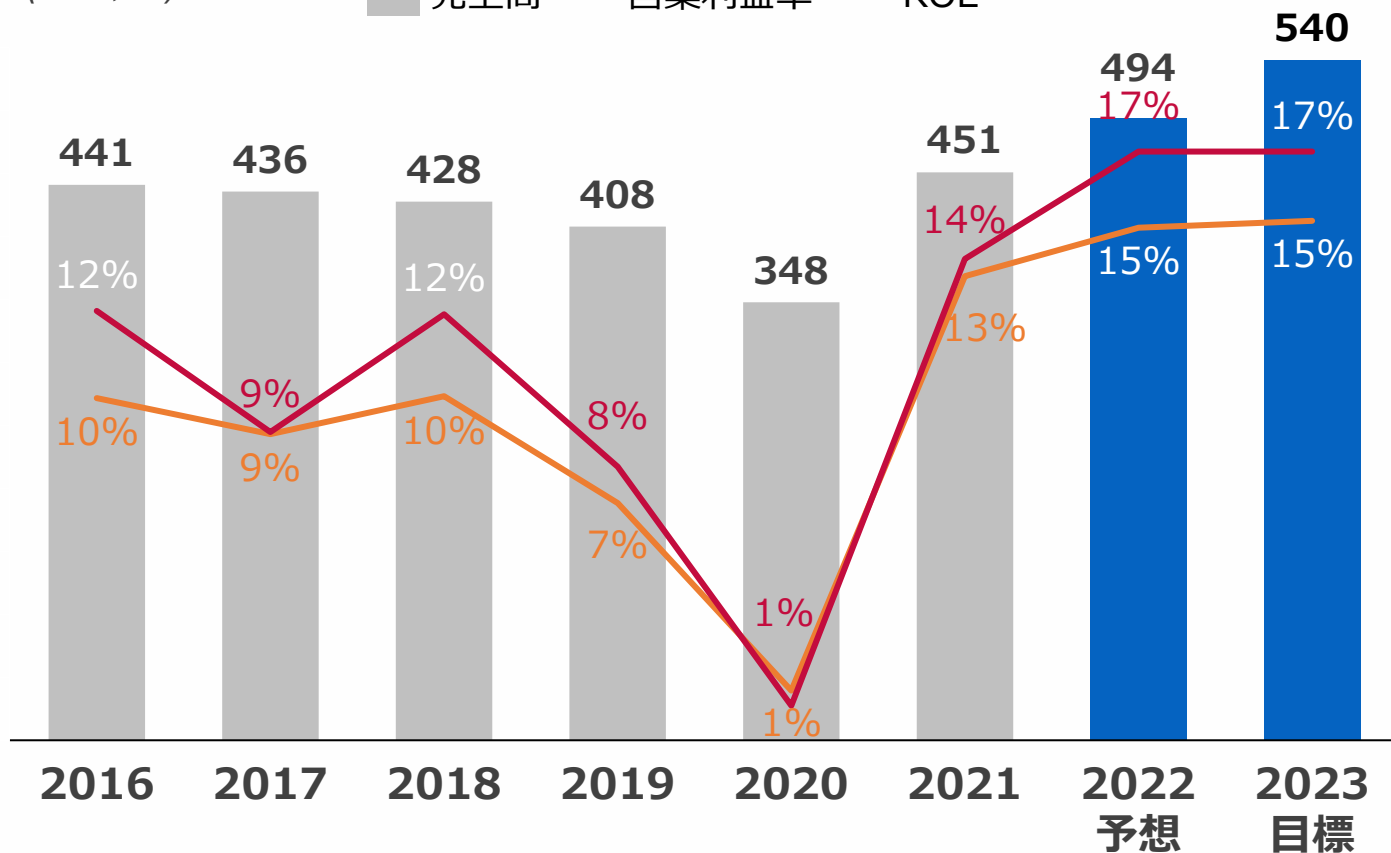
※ Dividend on Equity: 純資産に対する配当割合

高収益率・高資本効率を維持しつつ、成長路線へ回帰

2016以降の業績推移、今期ガイダンスおよび中計目標

(億円, %)

■ 売上高 — 営業利益率 — ROE



- '21-'23で年率9-10%の**売上成長**を目指す
- 引き続き、**高収益率・高資本効率経営**を目標とする

「事業ポートフォリオの転換」戦略アップデート

背景

今後、事業ポートフォリオ転換（成長戦略）に軸足を移すうえで、**戦略の見直し**を実施

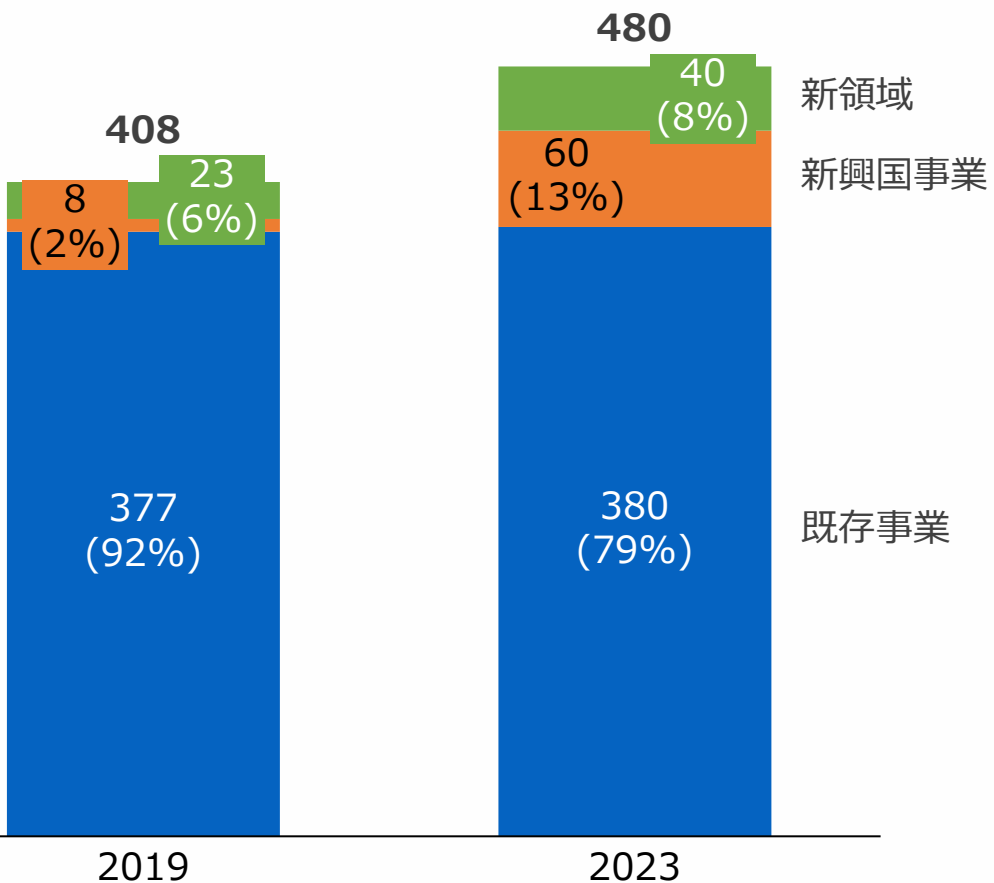
アップデート 概要

- **製品カテゴリ**で戦略区分を再定義し、当社の**成長・安定領域を明確化**
- 各カテゴリ単位で製品戦略～販売戦略を立案・実行し、特に**成長領域に対しては積極的に経営資源を配分**していく
- 上記により、溶剤プリンター（安定領域）から成長領域への**事業ポートフォリオの転換**を目指す

「成長領域」の拡大により売上目標540億達成を目指す

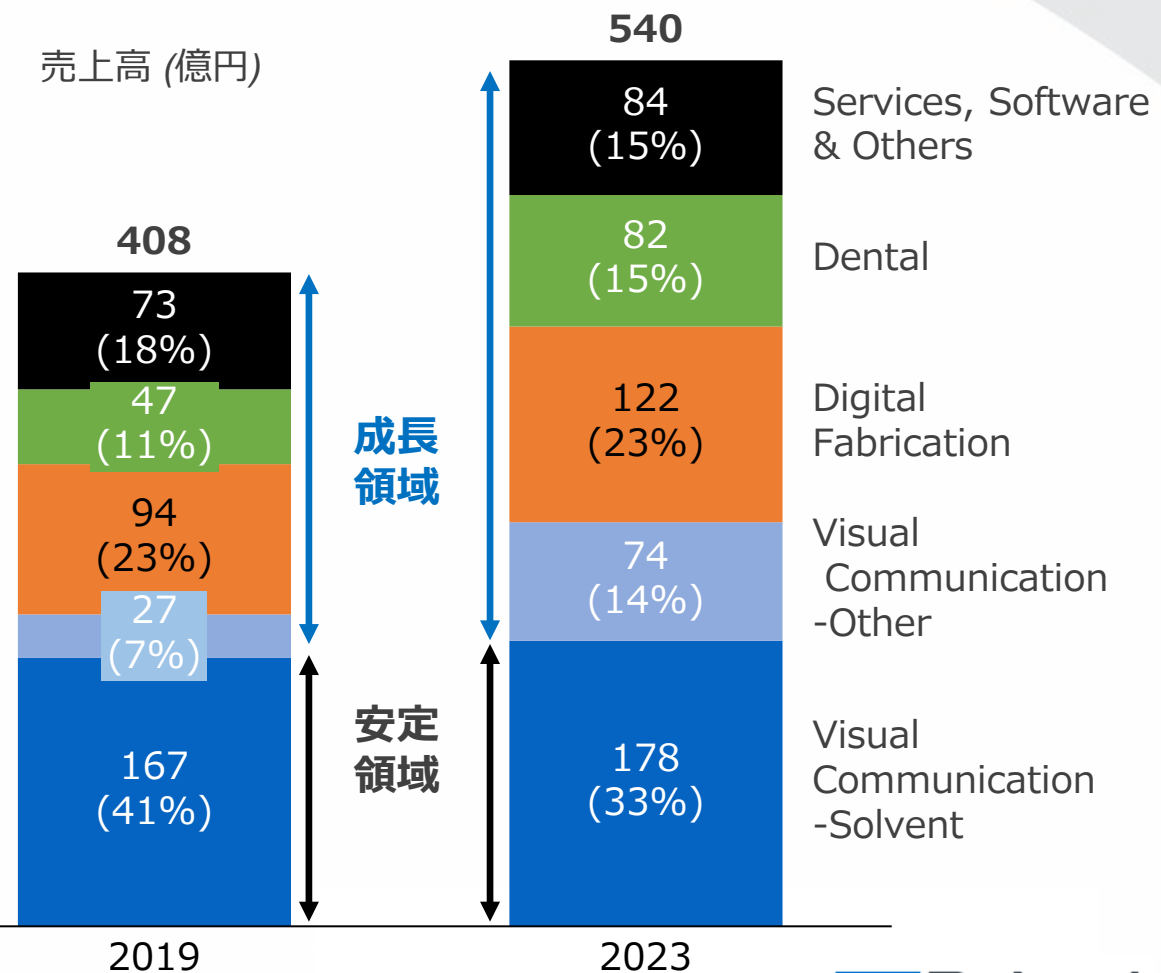
当初中計区分

売上高 (億円)



新中計区分

売上高 (億円)



Visual Communication Solvent / Other

Act. Growth

Fcst. Growth

+13%

CAGR ('19-21)

+45%

CAGR ('21-23)

+0%

CAGR ('19-21)

+3%

CAGR ('21-23)

売上高 (億円)

195

27

167

2019

203

35

168

2021

252

74

178

2023

VC-Other

VC-Sol

市場の見立て

- **Visual Communication ≠ 屋外看板**、市場全体は緩やかに成長
 - 屋外看板は成熟傾向。一方、**ディスプレイや装飾などの消費者への視覚的訴求 (= Visual Communication)** ニーズは拡大
- 一部溶剤インクからUV・水系などその他インクへの切り替えニーズを想定

当社戦略

- 溶剤インクプリンターではNo.1のポジショニングを堅持
- その他インクタイプにてシェアを獲得、新興国でのシェア伸長
- インクの多様化により、将来の新用途・新市場開拓のための基盤を構築



カテゴリ概要

アプリケーション：

サイン、ディスプレイ、店舗内装、バナー、カーラッピングなど

主要顧客：

サイン・ディスプレイ印刷業者

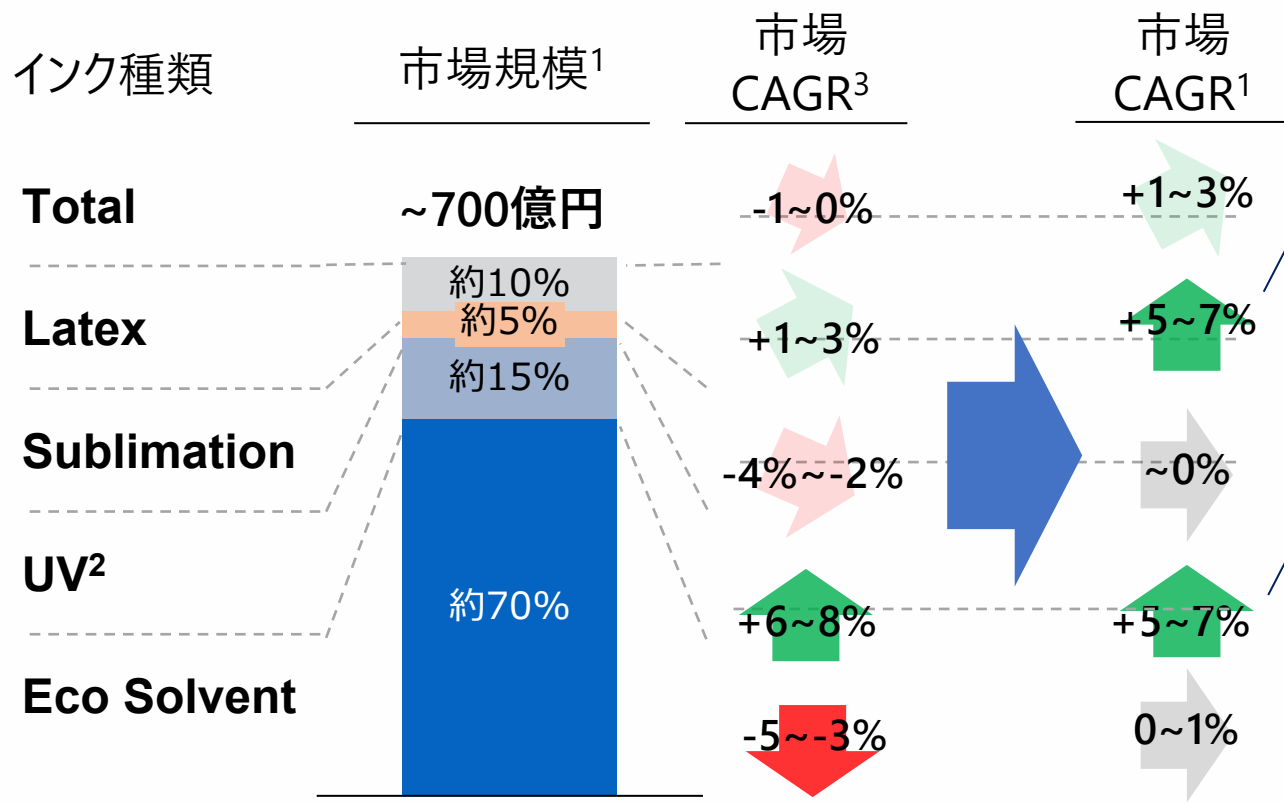
製品：

溶剤大判ロール型プリンター、インク (VC-Solvent)

その他大判ロール型プリンター、カッター、インク (VC-Other)

VC市場動向アップデート

VC市場環境



水系

エコフレンドリーインクのニーズ拡大

UV

LECシリーズの発売によりUV(Roll to Roll)におけるシェア獲得

ソルベント

成長率はほぼ横ばいだが、サイズが大きく収益性も高いため、今後も当社ポジションを堅持

1. リサーチ会社データをもとに当社推計 (2021時点)
2. Flatbed 等を除いたRoll to Roll 機のみ
3. 2019年時点

Digital Fabrication

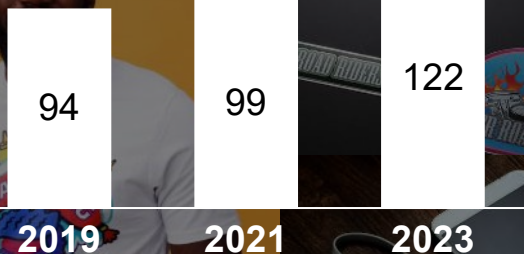
Act. Growth

Fcst. Growth

+3%
CAGR
(’19-21)

+11%
CAGR
(’21-23)

売上高 (億円)



市場の見立て

- パーソナライズトレンドを背景に、スモール・セミインダストリアル事業者による「ちょっとした加飾・加工」へのニーズは今後も拡大
- コロナ禍で、オンラインを含めたスモールビジネス向けのチャネル構築が奏功

当社戦略

- 従来とは異なる顧客層にむけたチャネル構築やマーケティングをグローバルで展開
- 外部パートナーとの協力やCo-Creation活動による、ラインアップ製品拡大



VersaUV Series
(LEF2)



VersaSTUDIO
(BN-20/20A)



LEC2 S-Series



METAZA (MPX)

カテゴリ概要

アプリケーション：

小物デコレーション、ステッカー、立体物加飾、小物彫刻・マーキング

主要顧客：

スモール・セミインダストリアルビジネス、個人事業主、リテールショップ

製品：

卓上プリンター、加飾用プリンター、工作用ミリングマシン

Digital Fabrication 事例

プリンター

パーソナライズ需要を捉え、**スモールBiz市場**の開拓をグローバル展開

- ・ホームオフィスなどで小型製品需要が拡大
- ・幅広いターゲット層へ、eコマースなどの販売チャネルも拡充
- ・小型Print&Cut機、Tシャツプリンターなど幅広いラインアップ



**VersaSTUDIO
BN-20**



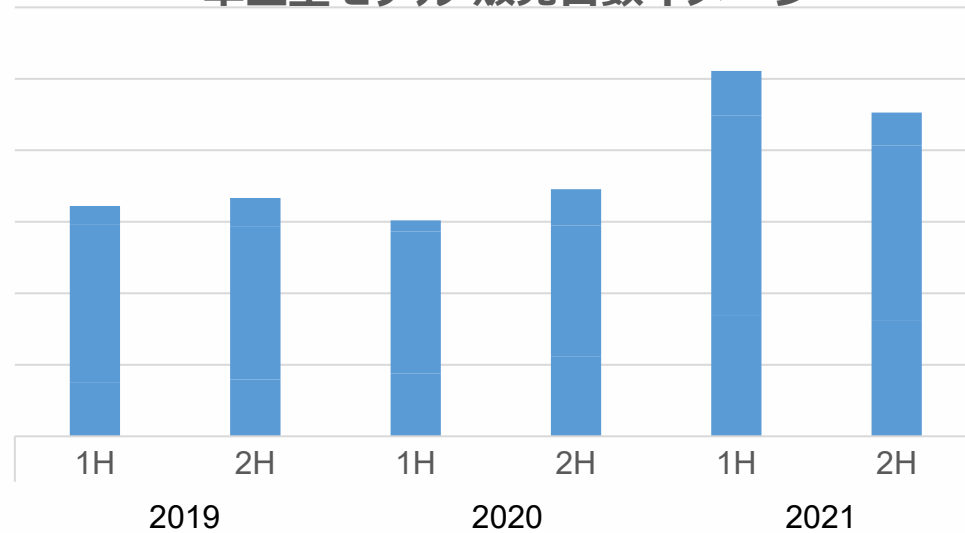
VersaSTUDIO BT-12



**CAMM-1
GS-24**



卓上型モデル 販売台数イメージ



Digital Fabrication 事例

Co-Creation

欧州での実績を北米やアジアなどへ2022年より横展開

- ・ 厚物印刷用UVプリンターが欧州で順調に推移
- ・ 北米やアジア、豪州などへの横展開を加速する
- ・ スクリーン印刷に替わるオンデマンド印刷で加飾需要を開拓



LEC2-640 S-Series



Dental

Act. Growth

Fcst. Growth

+19%

CAGR
('19-21)

+12%

CAGR
('21-23)

売上高 (億円)

47

66

82

2019

2021

2023

市場の見立て

- 長寿化により、デンタル分野は今後も長期的に高い成長を見込む
- 先進国でのメタルフリー歯科材料へのニーズの高まりや、新興国でのデジタル化の加速により引き続き年率10%以上の成長を想定

当社戦略

- 現在の主市場（先進国・ラボ）におけるポジショニングを維持
- 歯科ワークフローのデジタル化が加速する新興国市場において販路を強化
- 歯科クリニック市場への拡大や、用途拡大（デンチャー・インプラントなど）によりさらなる成長を目指す



DWX-52DCi



DWX-52D



DWX-42W

カテゴリ概要

アプリケーション：

クラウン・ブリッジ、デンチャー（入れ歯）、インプラントなどの歯科補綴物製作

主要顧客：

歯科技工所、歯科クリニックなど

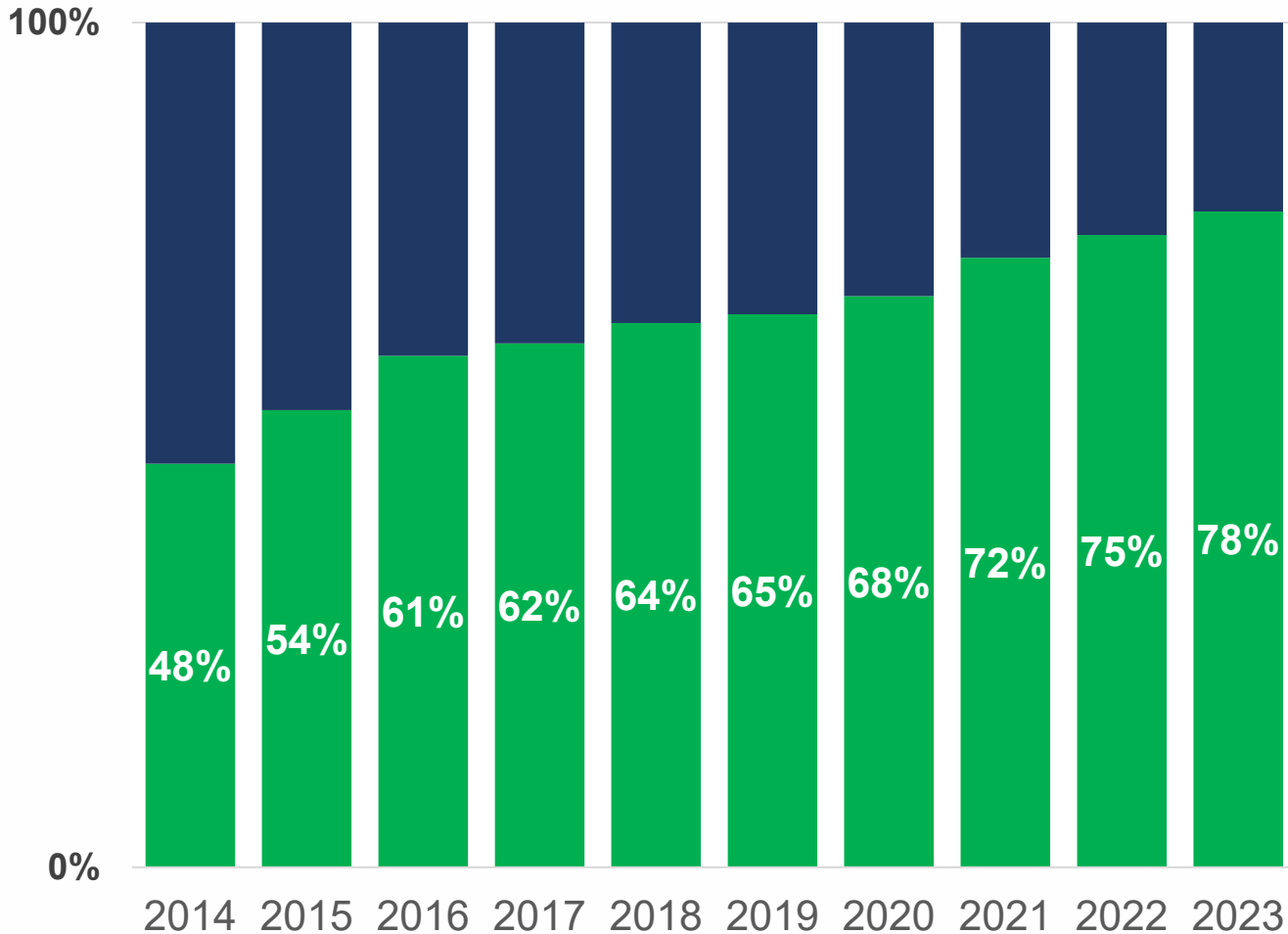
製品：

歯科用ミリングマシン

セラミック材料の拡大でデンタル加工機の需要増を見込む

クラウン&ブリッジ材料別推移（北米）

■ セラミック ■ メタル



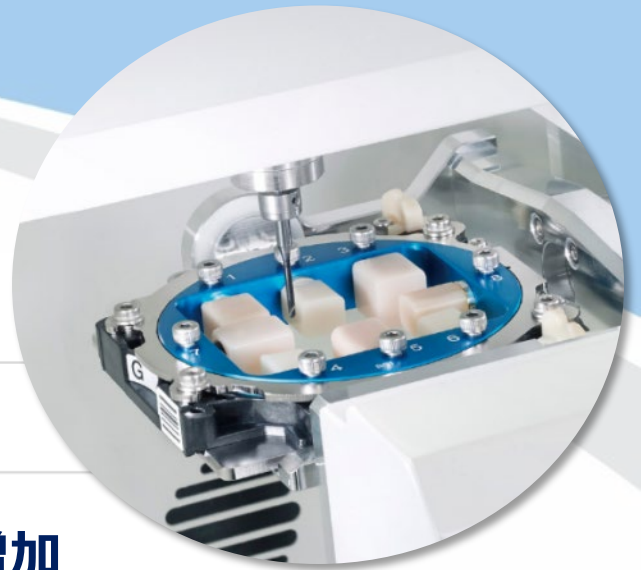
※当社調べ

金属材料からセラミック材料へ

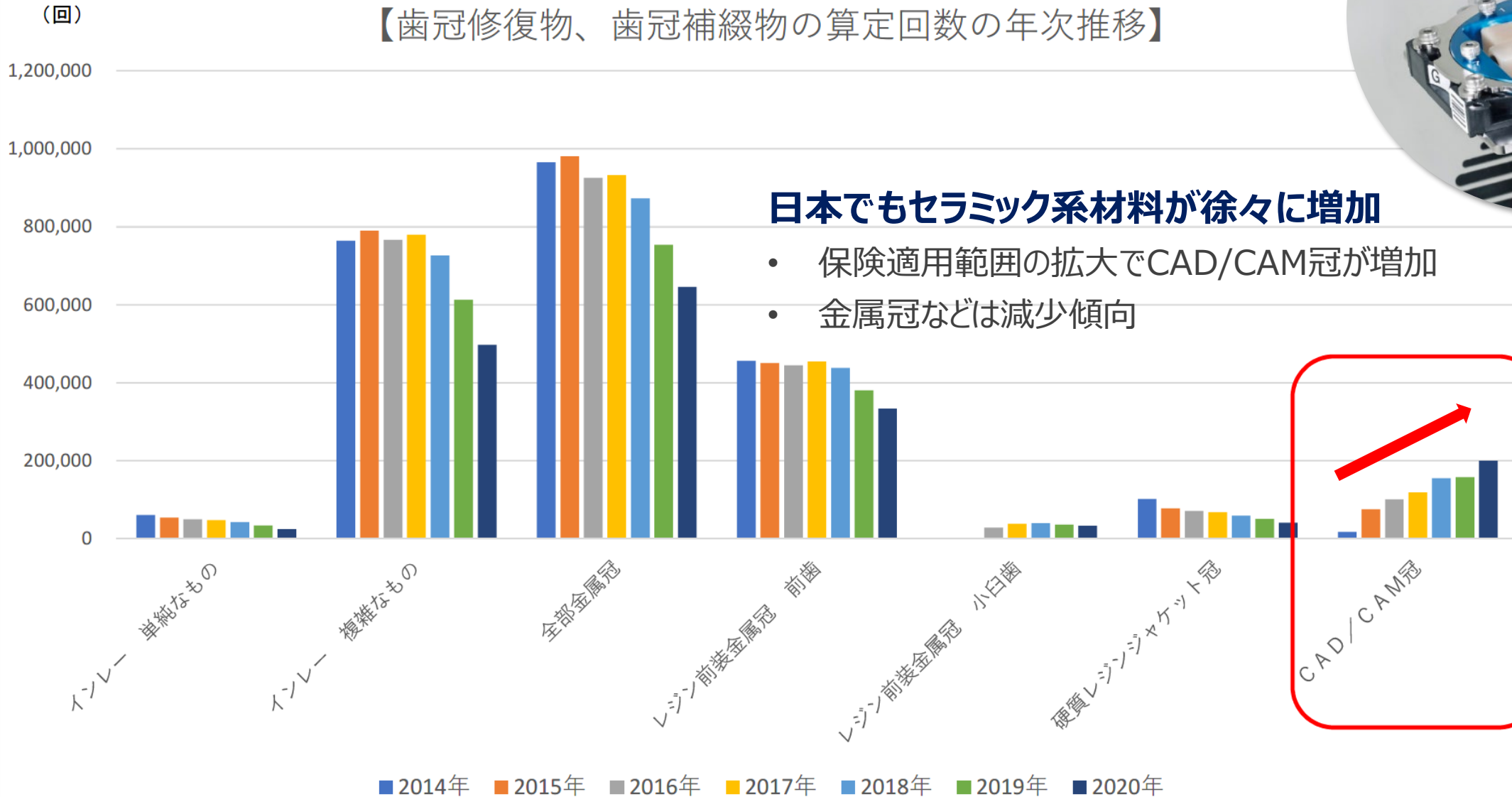
- ジルコニアなどのセラミック材料は人体親和性や審美性に優れる
- 金属価格高騰の背景あり
- CAD/CAMワークフローの普及
- 北米のセラミック比率はおよそ80%へ上昇



参考 日本におけるCAD/CAM冠の推移



【歯冠修復物、歯冠補綴物の算定回数の年次推移】



■ 2014年 ■ 2015年 ■ 2016年 ■ 2017年 ■ 2018年 ■ 2019年 ■ 2020年

※出典：厚生労働省 歯科技工士の業務のあり方等に関する検討会資料より



新興国でもデジタル化が成長段階へ



Service, Software & Others

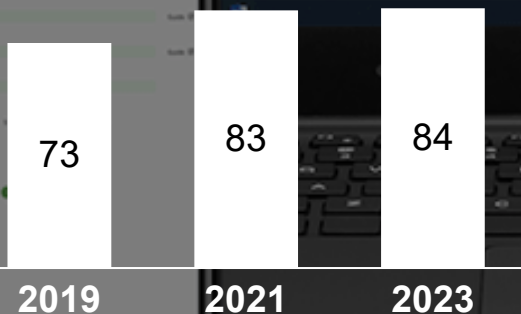
Act. Growth

Fcst. Growth

+7%
CAGR
('19-21)

+1%
CAGR
('21-23)

売上高 (億円)



市場の見立て

- 従来「受け身」「コストセンター」と捉えられていたサービス分野が、今後IoT・Connected 技術により進化
- 当社の各事業分野においてもハード・ソフトを融合した付加価値の提供機会が増加

当社戦略

- リペア・サービスメニューのアップグレードにより、顧客のダウンタイム削減と当社の収益性改善
- Roland DG Connectの展開による、エンド顧客との接点確立
- ソフトウェア (SaaS) など、新しい価値提供や収益機会を創り出すための種まき



カテゴリ概要

製品: スパースーツ、保守・メンテナンスサービス、ソフトウェア・アプリ など
主要顧客: VC、DPF、Dental分野での各顧客

世界中でユーザー数が拡大中 - コネクテッドサービス -

Roland DG Connect

for Everything Creative

※ 2021年4月リリース

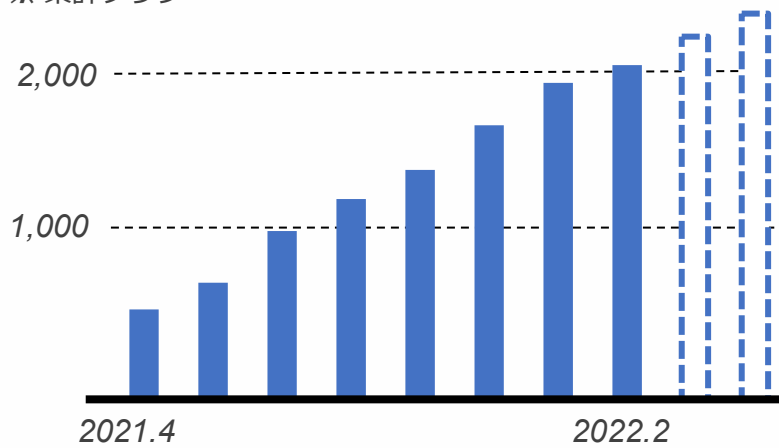
万が一エラーが発生した時も、製品の稼働状態や履歴などの情報をもとに的確な修理が行えるため、お客様のダウンタイムを低減



対象製品：プリンター



※ 累計グラフ



ユーザー数
2,000突破

DWINDEX2

※ 2021年7月リリース

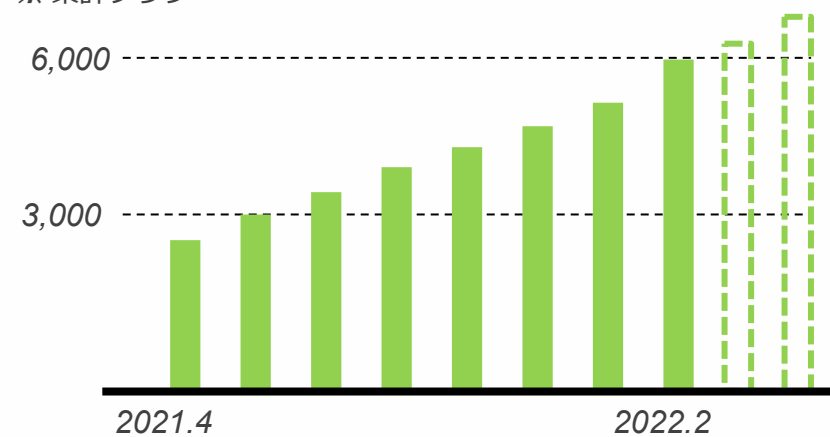
デンタル加工機の稼働状況の見える化など、効率的な事業運営を支援するソフトウェア



対象製品：デンタル加工機



※ 累計グラフ

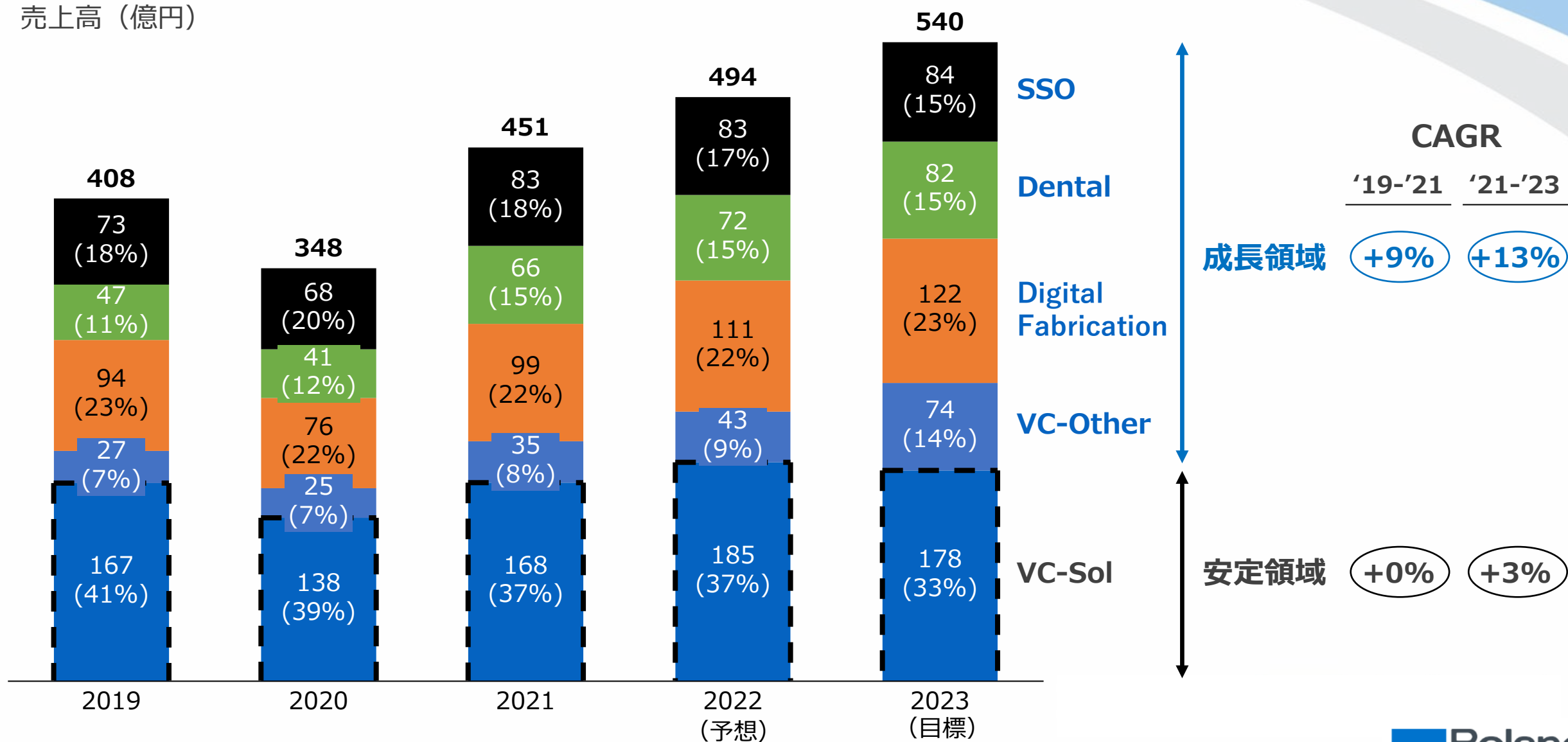


ユーザー数
6,000突破

将来の収益化に向けた布石

以上により、成長領域の比率を拡大（=ポートフォリオ転換実行）

売上高（億円）



世界の創造（ワクワク）をデザインします

私たちはモノづくりにおけるゲームチェンジャーとして
“do more*”と願うクリエイターたちに寄り添い、
独創的かつ革新的アイデアで彼らの創造性をインスパイアし、
世界の創造（ワクワク）をデザインします。

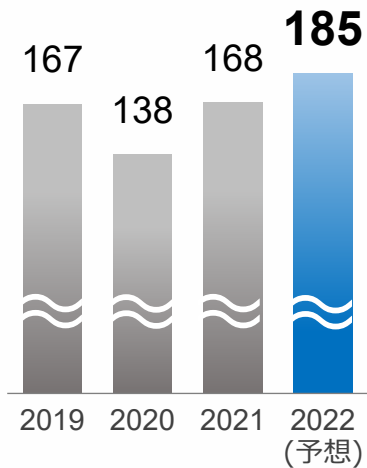
*もっとやりたい



1. 2021年12月期 業績概要
2. 2022年12月期 連結業績予想
3. 中期経営計画の見直し
4. **Appendix**

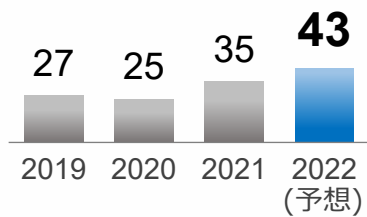
■ 新区分売上推移と2022年の見通し

(単位：百万円)



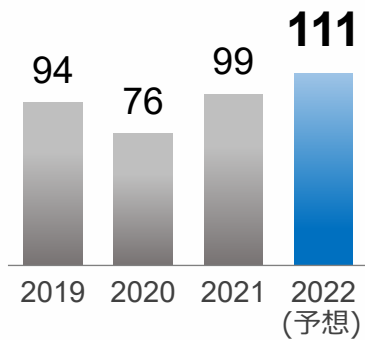
VC-SOL

- 設備投資需要は堅調
- 広告看板など出力需要が回復し、溶剤インクの販売は増加
- サイン市場向けカッティングマシンは増加



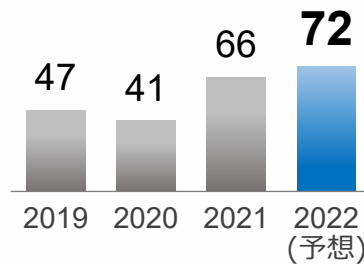
VC-Other

- Print & Cut機能とインクの強みを生かした用途提案でUVプリンターが増加
- テキスタイルプリンターはCo-Creation製品を販売エリア拡大で増加



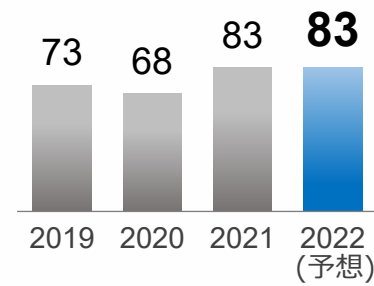
Digital Fabrication

- リテイル向けの卓上型UVプリンターは前期並み
- インハウス、スモールビジネス向けに卓上型の小型プリンターの販売が増加
- 立体加飾印刷用途のCo-Creation製品の販売拡大



Dental

- 先進国を中心に、技工所に加えて院内ラボを有するクリニックへ積極的に展開
- 中東・中南米など新興国の販路拡大
- デンチャーやインプラントなどの周辺用途の開拓



Service, Software & Others

- 保守・メンテナンス費が増加、サービスパーツは減少し前年並み
- コネクテッドサービスを活用したサービスサポートの向上、啓蒙活動

製品カテゴリ 新区分一覧

区分		顧客	用途・アプリケーション	製品	主要製品
Visual-Communication	VC-Solvent	サイン業者 出力センター	屋内外サイン 店舗内装・ディスプレイ バナー カーラッピング	低溶剤プリンター	VG2 シリーズ SG2 シリーズ 
	VC-Other	サイン業者 出力センター 印刷/デザイン会社	屋内外サイン 小ロットシール・ラベル デザイン試作 テキスタイル・アパレル	UVプリンター テキスタイルプリンター 大判カッティングマシン	LEC2 シリーズ Texart シリーズ EU-1000 GR2 シリーズ 
Digital Fabrication		小規模事業者 小売店舗 個人事業主	立体物加飾 シール・ステッカー 小物彫刻 マーキング	小型プリンター 小型カッティングマシン 3次元切削加工機 彫刻機 メタルプリンター	LEF シリーズ BN-20/20A LEC2 Sシリーズ MDXシリーズ MPX-95 
Dental		歯科技工所 歯科クリニック	被せ物、補綴物製作	デンタル加工機	DWX シリーズ 
Service, Software & Others		VC、DF、Dental分野での各顧客	スペアパーツ 保守・メンテナンスサービス ソフトウェア アプリ	サービスパーツ 保守・メンテナンス ソフトウェア	プリントヘッド等パーツ Roland DG Connect DWINDEX2 

2021年リリース 主要製品

VC...Visual Communication

DF...Digital Fabrication

SSO...Service, Software & Others

マルチピンランプ
(DWX-42W用)



Dental

オープンエッジアダプター
(DWX-52D用)



Dental



DWX-52Di

SSO

DWINDEX2



デンタル加工機の稼働状況の見える化など効率的な事業運営を支援するソフトウェア

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月



VC

VersaUV
LEC2-640 LEC2-330



Roland DGA
TrafficWorks™



Roland DG Connect
for Everything Creative

SSO

VC



EU-1000MF

DF



XT-640S、LEC2 S-Series
北米で販売開始

DF



VersaSTUDIO
SIGN MAKER BN-20A

コロナ禍で販売が増加した卓上型プリンターBN-20のラインナップを拡充

DF



VersaUV
LEC2 S-Series

DF



玩具にも使用可能な
UVインク「V-BOND」

VC



UVインクにレッドとオレンジ
の新品2色追加



CAMM-1
GR2-640 GR2-540

浜松市のワクチン接種会場のサイン製作をサポート

- ・ 浜松市内の大規模接種会場の受付案内や誘導表示等の掲示物を当社プリンターで出力支援
- ・ 海外販売パートナーの協力で英語・ポルトガル語・中国語・ベトナム語・タガログ語(フィリピン)・スペイン語に対応。

当社UVプリンター「VersaUV LEC2-640」で出力



出力使用したデザインデータは、接種会場のサイン製作にご活用いただけるよう当社HPで公開しています (クリックもしくはQRコードからアクセス)

Imagine. BLOG



QRコード



浜松市内3か所の大規模接種会場および11か所の福祉センターに施工されました

※デザインデータの一部

ローランド ディー.ジー.のものづくり

当社は独自のセル生産方式「D-PICS*」を採用し、オンデマンド生産を実現
急速な需要回復による増産への対応や、電子部品の調達問題により生じる生産調整の影響
を最小限に留めることを可能にしている *Digital Production Indicate & Control System



セル生産の特長

- 多品種変量生産に最適で、需要の変更にも柔軟に対応
- レイアウト変更も容易

生産計画の変更にもフレキシブルに対応



2021年12月期 前期比

通期業績

(単位：百万円)	2019		2020		2021		前期比		
	実績	売上比	実績	売上比	実績	売上比	増減額	比率	為替影響除外
売上高	40,795	100.0%	34,780	100.0%	45,095	100.0%	10,315	129.7%	124.4%
売上総利益	17,330	44.0%	13,178	37.9%	19,968	44.3%	6,790	151.5%	140.7%
販管費	14,536	36.3%	12,678	36.5%	13,912	30.9%	1,234	109.7%	106.3%
営業利益	2,794	7.8%	500	1.4%	6,056	13.4%	5,556	1210.8%	954.3%
経常利益	2,648	7.3%	422	1.2%	6,082	13.5%	5,659	1438.7%	1123.0%
当期純利益*	1,944	5.5%	251	0.7%	3,733	8.3%	3,482	1486.7%	1078.8%
EPS (円)	155.39		20.17		299.88				
期中平均 為替レート (円)	USD	109.06	106.83		109.81				
	EUR	122.11	121.86		129.93				

*当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益
(単位：百万円)

為替影響額	売上高	1,819
	営業利益	951

2021年12月期 前期比

品目別・地域別売上高

(単位：百万円) 品目別売上高	2019		2020		2021		前期比		
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	増減額	比率	為替影響除外
プリンター	13,183	32.3%	10,053	28.9%	14,411	32.0%	4,358	143.4%	137.4%
プロッタ	1,098	2.7%	1,003	2.9%	1,209	2.7%	206	120.6%	116.2%
工作機器 (DGSHAPE)	5,705	14.0%	4,779	13.7%	7,047	15.6%	2,267	147.5%	141.5%
サプライ	13,411	32.9%	12,153	35.0%	14,437	32.0%	2,284	118.8%	114.0%
その他	7,396	18.1%	6,790	19.5%	7,989	17.7%	1,198	117.7%	113.1%
合計	40,795	100.0%	34,780	100.0%	45,095	100.0%	10,315	129.0%	124.4%
地域別売上高									
日本	4,745	11.6%	4,164	12.0%	4,533	10.0%	369	108.9%	—
北米	11,627	28.5%	10,621	30.5%	14,015	31.1%	3,393	131.9%	128.4%
欧州	15,257	37.4%	12,956	37.3%	17,168	38.1%	4,211	132.5%	124.3%
アジア	3,220	7.9%	2,439	7.0%	3,230	7.2%	790	132.4%	127.1%
その他	5,944	14.6%	4,597	13.2%	6,148	13.6%	1,551	133.7%	128.4%
合計	40,795	100.0%	34,780	100.0%	45,095	100.0%	10,315	129.7%	124.4%

2021年12月期 四半期 (QTD)

四半期業績

(単位：百万円)

	2019				2020				2021					
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	YoY	QoQ
売上高	9,887	10,070	9,926	10,910	9,038	6,736	9,187	9,817	10,298	11,548	11,566	11,682	119.0%	101.0%
売上総利益	4,458	4,429	4,266	4,175	3,771	1,467	3,829	4,110	4,323	5,304	5,217	5,123	124.7%	98.2%
売上総利益率	45.1%	44.0%	43.0%	38.3%	41.7%	21.8%	41.7%	41.9%	42.0%	45.9%	45.1%	43.9%	+2.0P	△1.2P
販管費	3,637	3,682	3,517	3,698	3,446	2,918	3,045	3,267	3,292	3,377	3,340	3,902	119.4%	116.8%
販管费率	36.8%	36.6%	35.4%	33.9%	38.1%	43.3%	33.1%	33.3%	32.0%	29.2%	28.9%	33.4%	+0.1P	+4.5P
営業利益	820	746	749	477	324	△1,450	783	842	1,031	1,926	1,876	1,221	144.9%	65.1%
営業利益率	8.3%	7.4%	7.5%	4.4%	3.6%	—	8.5%	8.6%	10.0%	16.7%	16.2%	10.5%	+1.9P	△5.7P
経常利益	794	688	705	459	136	△1,355	776	865	1,108	1,950	1,763	1,258	145.4%	71.4%
経常利益率	8.0%	6.8%	7.1%	4.2%	1.5%	—	8.4%	8.8%	10.8%	16.9%	15.2%	10.8%	+2.0P	△4.4P
四半期純利益	587	482	578	296	92	△1,416	534	1,040	△215	1,796	1,227	925	88.9%	75.4%
四半期純利益率	5.9%	4.8%	5.8%	2.7%	1.0%	—	5.8%	10.6%	—	15.6%	10.6%	7.9%	△2.7P	△2.7P
EPS (円)	46.79	38.53	46.31	23.76	7.38	△121.03	50.27	83.55	△17.34	144.38	98.55	74.29	—	—

*四半期純利益は親会社株主に帰属する四半期純利益

2021年12月期 四半期 (QTD)

品目別・地域別売上高

(単位：百万円)

品目別売上高	2019				2020				2021					
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	YoY	QoQ
プリンター	3,126	3,261	3,156	3,638	2,498	2,092	2,618	2,843	3,232	3,777	3,797	3,604	126.7%	94.9%
プロッタ	284	274	261	277	281	215	239	266	336	283	265	324	121.8%	122.0%
工作機器 (DGSHAPE)	1,326	1,318	1,381	1,678	1,334	642	1,207	1,595	1,494	1,892	1,692	1,967	123.3%	116.3%
サプライ	3,264	3,429	3,321	3,395	3,079	2,485	3,311	3,277	3,247	3,693	3,781	3,715	113.4%	98.3%
その他	1,855	1,786	1,804	1,920	1,844	1,300	1,811	1,834	1,987	1,902	2,028	2,070	112.9%	102.1%
合計	9,887	10,070	9,926	10,910	9,038	6,736	9,187	9,817	10,298	11,548	11,566	11,682	119.0%	101.0%
地域別売上高														
日本	1,208	1,062	1,339	1,134	1,173	866	1,018	1,106	1,167	1,051	1,113	1,201	108.6%	107.8%
北米	2,563	2,924	2,934	3,205	2,581	2,472	2,776	2,791	3,103	3,983	3,725	3,202	114.7%	85.9%
欧州	3,879	3,821	3,401	4,155	3,309	2,242	3,549	3,856	3,739	4,162	4,346	4,919	127.6%	113.2%
アジア	805	822	774	818	608	465	580	785	723	808	755	943	120.1%	124.9%
その他	1,431	1,438	1,477	1,596	1,366	690	1,262	1,277	1,564	1,543	1,624	1,415	110.8%	87.1%
合計	9,887	10,070	9,926	10,910	9,038	6,736	9,187	9,817	10,298	11,548	11,566	11,682	119.0%	101.0%

2022年12月期 業績予想

通期連結業績

(単位：百万円)	2020		2021		2022 予想		前期比		
	実績	売上比	実績	売上比	予想	売上比	増減額	比率	為替影響除く 実質ベース
売上高	34,780	100.0%	45,095	100.0%	49,400	100.0%	4,304	109.5%	108.9%
売上総利益	13,178	37.9%	19,968	44.3%	25,500	51.6%	5,531	127.7%	126.6%
販管費	12,678	36.5%	13,912	30.9%	18,200	36.8%	4,287	130.8%	130.3%
営業利益	500	1.4%	6,056	13.4%	7,300	14.8%	1,243	120.5%	118.1%
経常利益	422	1.2%	6,082	13.5%	7,300	14.8%	1,217	120.0%	117.8%
当期純利益*1	251	0.7%	3,733	8.3%	5,300	10.7%	1,566	142.0%	139.4%
EPS (円)	20.17		299.88		425.42				
期中平均 為替レート (円)	USD	106.83	109.81		113.00				
	EUR	121.86	129.93		128.00				

*1 当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益

*売上原価で表示していた研究開発費を、2022年より販管費に変更いたしました。

		USD	EUR
為替感応度 (2021実績ベース)	売上高	140	117
	営業利益	64	74

2022年12月期 通期連結業績予想

品目別・地域別売上高

(単位：百万円) 品目別売上高	2020		2021		2022 予想		前期比		
	実績	構成比	実績	構成比	予想	構成比	増減額	比率	為替影響除く
プリンター	10,053	28.9%	14,411	32.0%	17,550	35.5%	3,138	121.8%	121.0%
プロッタ	1,003	2.9%	1,209	2.7%	1,250	2.5%	40	103.4%	101.2%
工作機器 (DGSHAPE)	4,779	13.7%	7,047	15.6%	8,000	16.2%	952	113.5%	113.3%
サプライ	12,153	35.0%	14,437	32.0%	14,400	29.2%	△37	99.7%	98.9%
その他	6,790	19.5%	7,989	17.7%	8,200	16.6%	210	102.6%	102.2%
合計	34,780	100.0%	45,095	100.0%	49,400	100.0%	4,304	109.5%	108.9%
地域別売上高									
日本	4,164	12.0%	4,533	10.0%	4,850	9.8%	316	107.0%	-
北米	10,621	30.5%	14,015	31.1%	16,450	33.3%	2,434	117.4%	114.0%
欧州	12,956	37.3%	17,168	38.1%	17,600	35.6%	431	102.5%	103.5%
アジア	2,439	7.0%	3,230	7.2%	3,750	7.6%	519	116.1%	116.5%
その他	4,597	13.2%	6,148	13.6%	6,750	13.7%	651	109.8%	110.3%
合計	34,780	100.0%	45,095	100.0%	49,400	100.0%	4,304	109.5%	108.9%

2022年12月期 H1/H2業績予想

半期業績

(単位：百万円)	2021				2022					
	H1実績	比率	H2実績	比率	H1予想	前年同期比	比率	H2予想	前年同期比	比率
売上高	21,846	100.0%	23,249	100.0%	23,900	109.4%	100.0%	25,500	109.7%	100.0%
売上総利益	9,627	44.1%	10,340	44.5%	12,200	126.7%	51.0%	13,300	128.6%	52.2%
販管費	6,669	30.5%	7,243	31.2%	9,200	137.9%	38.5%	9,000	124.3%	35.3%
営業利益	2,958	13.5%	3,097	13.3%	3,000	101.4%	12.6%	4,300	138.8%	16.9%
経常利益	3,059	14.0%	3,022	13.0%	3,000	98.0%	12.6%	4,300	142.3%	16.9%
当期純利益*	1,580	7.2%	2,152	9.3%	2,100	132.9%	8.8%	3,200	113.5%	12.5%

*売上原価で表示していた研究開発費を、2022年より販管費に変更いたしました。

*親会社株主に帰属する当期純利益

2022年12月期 H1/H2業績予想

品目別・地域別売上高

(単位：百万円)

品目別売上高	2021				2022					
	H1実績	構成比	H2実績	構成比	H1予想	前年同期比	構成比	H2予想	前年同期比	構成比
プリンター	7,010	32.1%	7,401	31.8%	8,350	119.1%	34.9%	9,200	124.3%	36.1%
プロッタ	619	2.8%	590	2.5%	600	96.9%	2.5%	650	110.1%	2.5%
工作機器 (DGSHAPE)	3,387	15.5%	3,660	15.8%	3,750	110.7%	15.7%	4,250	116.1%	16.7%
サプライ	6,940	31.8%	7,497	32.3%	7,100	102.3%	29.7%	7,300	97.4%	28.6%
その他	3,889	17.8%	4,099	17.6%	4,100	105.4%	17.2%	4,100	100.0%	16.1%
合計	21,846	100.0%	23,249	100.0%	23,900	109.4%	100.0%	25,500	109.7%	100.0%
地域別売上高										
日本	2,218	10.2%	2,315	10.0%	2,450	110.4%	10.2%	2,400	103.7%	9.4%
北米	7,087	32.4%	6,928	29.8%	8,000	112.9%	33.5%	8,450	122.0%	33.1%
欧州	7,901	36.2%	9,266	39.8%	8,650	109.5%	36.2%	8,950	96.6%	35.1%
アジア	1,531	7.0%	1,698	7.3%	1,700	111.0%	7.1%	2,050	120.7%	8.1%
その他	3,107	14.2%	3,040	13.1%	3,100	99.7%	13.0%	3,650	120.0%	14.3%
合計	21,846	100.0%	23,249	100.0%	23,900	109.4%	100.0%	25,500	109.7%	100.0%

本資料に記載されている当社の業績見通し、計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。これらは現時点（2022年2月18日現在）で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、これらの見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。

ローランド ディー.ジー.株式会社

